

No. 3884 / 23

62
381
09

續新法彙要目次

法律

通用禁止之貨紙幣引換期限(法律第十三號)	一	丁
整理公債特別會計(法律第十四號)	二	丁
作業者法(法律第十七號)	三	丁
陸軍作業會計法(法律第十八號)	七	丁
鎮守府造船材料資金會計法(法律第十九號)	九	丁
官設鐵道會計法(法律第二十號)	十二	丁
中央備荒儲蓄金預金局預金郵便貯金爲換金特別會計(法律第二十一號)	十四	丁
紙幣交換基金特別會計法(法律第二十四號)	十七	丁



- 一 鑛店銀行紙幣交換基金特別會計法(法律第二十五號) 十八丁
 - 一 官立學校及圖書館會計法(法律第二十六號) 十九丁
 - 一 陸軍給與ニ關スル委任經理ノ件(法律第二十七號) 二十二丁
- 勅令
- 一 市町村ヲシテ徵收セシムル國稅ニ關スル勅令中追加ノ件(勅令第十七號) 二十四丁
 - 一 國債ニ關スル仕拂及收入金決算ノ件(勅令第二十號) 同丁
 - 一 在外公館經費中前金拂ノ件(勅令第三十二號) 二十六丁
 - 一 作業及鐵道會計規則(勅令第三十三號) 同丁
 - 一 鎮守府造船材料資金會計規則(勅令第三十四號) 四十六丁
 - 一 歲入歲出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ノ件(勅令第三十五號) 四十九丁

- 一 官立學校及圖書館會計規則(勅令第五十三號) 五十丁
 - 一 北海道官有未開ノ土地拂下貸下ニ關スル件(勅令第五十五號) 六十四丁
 - 一 海軍兵備品會計規則(勅令第六十四號) 六十五丁
 - 一 府縣委托金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件(勅令第六十六號) 六十七丁
 - 一 公債金政府紙幣交換基金鑛店銀行紙幣交換基金特別會計ノ件(勅令第六十八號) 六十九丁
 - 一 官有森林原野及產物特別處分規則(勅令第六十九號) 七十一丁
- 省令
- 一 保管金取扱規程(省令第八號) 七十五丁
- 訓令
- 一 中央金庫及本支金庫ノ金櫃帳簿ノ銀行本業部ト混淆セ

- サラシムル注意(訓令第六號) 八十九丁
- 一 國稅納期內皆納ニ至ラサルノトキ主稅局へ送付スヘキ 同 丁
- 其實況及處分費報告表書式(訓令第八號)
- 一 印紙類會計官吏身元保證金取扱方(訓令第九號) 九十三丁
- 一 集合仕拂命令ニ添付スヘキ各債主ノ金額氏名表書式恩 賞諸祿ノ仕拂ニ係ルモノ心得方(訓令第十一號) 九十五丁
- 一 恩賞諸祿仕拂取扱順序(訓令第十二號) 九十六丁
- 一 金庫相互間回送金振換金取扱順序(訓令第十五號) 百十丁
- 一 出納官吏身元保證ノ公債證書預リ順序(訓令第十六號) 百三十三丁
- 一 會計主務官心得(訓令第十八號) 百四十一丁
- 一 北海道及ヒ町村制ヲ施行セサル島嶼ノ國稅徵收手續ノ

件(訓令第二十號)

- 一 二十三年度內國稅徵收費取扱順序(訓令第二十五號) 百七十二丁
- 一 收入官吏收入簿會計主務官支出簿月計及追次締高記載 方樣式ノ件(訓令第二十八號) 百七十六丁
- 一 國稅賦課計算書調製ノ件(訓令第二十九號) 百八十二丁
- 一 金庫所在地外ノ債主ヨリ差出シタル領收證書及集合仕 拂命令ニ對スル領收證差出シ方(訓令第三十號) 百八十三丁
- 一 內國稅徵收費仕拂豫算整理方(訓令第三十一號) 百八十四丁
- 一 備荒儲蓄金取扱順序(訓令第三十四號) 百八十九丁
- 一 出納官吏身元保證金取扱規則中納付書以下書式(訓令第三 十六號) 百九十二丁
- 一 金庫ニ遠隔ノ地方へ金庫員派出事務取扱ノ際帳簿整理

- 方(訓令第四十二號) 二百一丁
- 一納稅期限ヲ過キ督促令狀發付前ニ滯納稅上納ノ節納付書樣式(訓令第四十三號) 二百十四丁
- 一保管金受渡事務順序(訓令第四十四號) 二百十七丁
- 一身元保證金寄托拂込書式(訓令第四十五號) 二百二十八丁
- 一貸付金徵收ノ取扱(訓令第四十七號) 二百二十九丁
- 一收入官吏ヨリ監守證ヲ送付スル金庫心得(訓令第四十八號) 二百三十丁
- 一二二二年度ニ屬スル森林資金部未拂ノ金額整理方(訓令第五十號) 二百三十二丁
- 一出納官吏交替ノトキ事務引繼手續(訓令第五十四號) 二百三十二丁
- 一二三三年度以降内國稅徵收費所屬經費ニ係ル會計規則第六十七條ノ検査官吏等ノ件(訓令第五十五號) 二百四十丁

- 一保管金取扱規程ニ依リ寄托ニ關スル書類ニ押印ノ件(訓令第五十六號) 同 丁

法律

- 一二二二年度會計特別整理(法律第十一號) 二百四十二丁

省令

- 一二二二年度内ニ收入ヲ了セサル歳入豫算金額ヲ二三三年度ニ於テ收納セシモノ、整理取扱方(省令第四號) 二百四十五丁

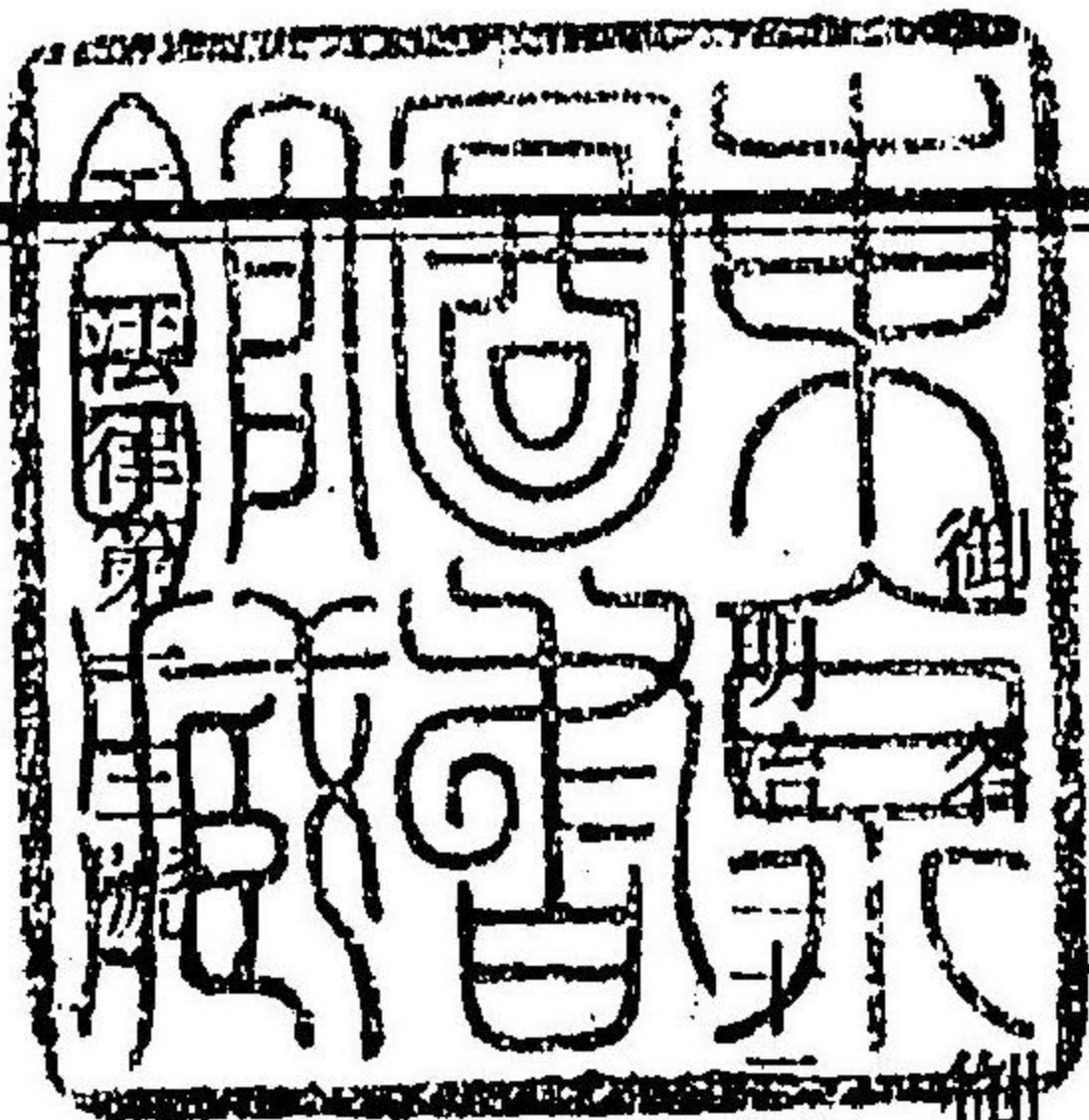
訓令

- 一國稅ニ關スル會計特別整理取扱方(訓令第十九號) 二百四十七丁
- 一二二二年度中ニ發シタル同年度所屬徵稅令書納額告知

- 書ノ收入ヲ了セサルモノ取扱方(訓令第二十一號) 二百四十八丁
- 一 二十二年年度歳入出整理ノ件金庫處理順序(訓令第二十二號) 二百五十丁
- 一 雜部預ケ入金額整理ノ件(訓令第二十六號) 二百五十六丁
- 一 雜部預ケ入金金庫整理順序(訓令第二十七號) 二百五十九丁
- 一 二十二年年度恩賞諸祿ニシテ同年度特別會計整理ニ當ルモノ取扱方(訓令第二十三號) 二百六十二丁
- 一 各廳ト金庫ノ間ニ係ル科目其他ノ誤謬訂正ヲ爲サル件(訓令第二十八號) 二百六十六丁
- 一 二十二年年度ヨリ繰越スヘキ徵稅費所屬經費整理方(訓令第四十號) 同 丁
- 一 二十二年年度内國稅徵收費所屬經費整理方(訓令第五十三號) 二百六十八丁

法律

朕通用ヲ禁止シタル貨幣紙幣ノ引換ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



御 璽
明治二十三年二月二十八日



内閣總理大臣 伯爵山縣有朋
大藏大臣 伯爵松方正義

政府發行ノ補助貨幣及紙幣ニシテ通用ヲ廢止シタルモノハ其廢止ノ翌日ヨリ起算シ滿五箇年内ニ引換ヲ請求セサレハ期滿免除トシテ政府ハ其引換義務ヲ免ル、モノトス但明治二十年六月三十日ヲ以テ通用ヲ廢止シタル拾錢

通用ヲ禁止シタル貨幣紙幣引換期限

紙幣ハ本法發布ノ日ヨリ起算シ滿三年ヲ以テ期滿免除ノ期限トス

朕整理公債ニ關スル特別會計設置ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年二月二十八日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

法律第十四號

第一條 整理公債條例ニ依リ募集又ハ償還スル公債金ノ會計ハ特別トシテ
一般ノ歲入歲出ト區分スヘシ

第二條 整理公債募集金ノ毎年度内ニ他ノ公債償還ニ供セサルモノハ翌年

度へ繰越スヘシ

第三條 整理公債條例第三十一條ニ依リ支出スル製造費發行費及利息ハ其
金額ヲ一般ノ歲入ニ組入レ一般ノ歲出トシテ拂出スヘシ

第四條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス

朕作業會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

法律第十七號

整理公債特別會計 作業會計法

作業會計法

第一條 左ノ作業所ハ其事業ヲ經營スル爲メ固定資本据置運轉資本ヲ置キ
作業上ノ收入及其附屬雜收入ハ作業直接ノ費用ニ充ルコトヲ許シ特別ノ
會計ヲ立テシム但事務ニ屬スル作業間接ノ費用ハ總テ一般ノ會計ニ依ラ
シム

第一 造幣局

第二 印刷局

第三 富岡製絲所

第四 電信燈臺用品製造所

第五 廣島鑛山

第二條 各作業所ニ於テ從來使用シ及將來増加スル所ノ土地建物軌道其他

築造道路船舶機械永遠保存品其他重要ナル器具ヲ以テ固定資本トナシ從
來ノ營業資本額ヲ以テ据置運轉資本トス

第三條 各作業所特別會計ノ歲出額ハ豫算定額内ニ於テ實際ノ歲入及据置
運轉資本ノ合計額ヲ超過スルヲ許サス

第四條 固定資本ノ維持修理及補充ハ作業所特別會計ノ歲入ヲ以テ支辨ス
ヘシ

第五條 作業所ノ純益及固定資本ニ屬スル物件ノ賣拂代金ハ總テ一般ノ歲
入ニ編入スヘシ

第六條 政府ハ毎年各作業所特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ
總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 各作業所特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ

定ム

第八條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス其帝國議會ニ關涉スルモノハ帝國議會開會後ノ會計年度ヨリ施行ス

朕陸軍作業會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

陸軍大臣 伯爵大山 巖

法律第十八號

陸軍作業會計法

第一條 東京砲兵工廠大阪砲兵工廠及千住製絨所ハ其事業ヲ經營スル爲メ固定資本据置運轉資本ヲ置キ作業上ノ收入及其附屬雜收入ハ作業ノ費用ニ充ルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 東京砲兵工廠大阪砲兵工廠ニ於テハ從來使用シ及將來増加スル所ノ機械其他重要ナル器具ヲ以テ固定資本トシ從來ノ營業資本額ヲ以テ据置運轉資本トス

千住製絨所ニ於テハ從來使用シ及將來増加スル所ノ土地建物機械其他重要ナル器具ヲ以テ固定資本トシ從來ノ營業資本額ヲ以テ据置運轉資本トス

第三條 東京及大阪砲兵工廠ハ職工人夫ノ諸費材料素品及機械運轉用品ノ

購入費機械器具ノ維持修理及補充費工業場ノ雜費並ニ損失金ヲ作業ノ歲出トス

千住製絨所ハ俸給諸給旅費廳費生産品販賣ノ諸費職工人夫ノ諸費材料素品及機械運轉用品ノ購入費土地建物ノ維持修理費機械器具ノ維持修理及補充費工業場ノ雜費並ニ損失金ヲ作業ノ歲出トス

第四條 各作業所特別會計ノ歲出額ハ豫算定額内ニ於テ實際ノ歲入及据置運轉資本ノ合計額ヲ超過スルヲ許サス

第五條 作業所ノ純益及固定資本ニ屬スル物件ノ賣拂代金ハ總テ一般ノ歲入ニ編入スヘシ

第六條 政府ハ毎年各作業所特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 豫算外ニ軍用品ノ製作修理ヲ要スル場合ニ於テ其費用ヲ補フ爲メ

各作業所ノ歲出豫算ニ豫備費ヲ設ルコトヲ得

第八條 各作業所ニ於テ機械器具材料素品及機械運轉用品ヲ外國ヨリ買入ル、トキハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第九條 各作業所特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス其帝國議會ニ關涉スルモノハ帝國議會開會後ノ會計年度ヨリ施行ス

朕鎮守府造船材料資金會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月十七日

內閣總理大臣 伯爵山縣有朋
海軍大臣 伯爵西鄉從道
大藏大臣 伯爵松方正義

法律第十九號

鎮守府造船材料資金會計法

- 第一條 鎮守府造船工場ニ於テ船舶ヲ製造修理スル爲メニ要スル材料貯蓄ノ資本トシテ造船材料資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム
- 第二條 造船材料資金ハ從來橫須賀鎮守府小野濱造船所ニ備ヘタル營業資本ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 造船材料資金ヲ以テ貯蓄シタル材料ヲ使用スルトキハ海軍省所管

經費ヲ以テ之ヲ購入スヘシ

第四條 造船材料資金ヲ以テ貯蓄シタル材料ノ損減ハ豫メ歩合ヲ定メテ材料原價ニ加算スヘシ

第五條 每會計年度ニ於テ造船材料資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生スルトキハ其過剩金ヲ同年度一般ノ歳入ニ編入スヘシ

第六條 政府ハ毎年造船材料資金特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 造船材料資金ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス其帝國議會ニ關涉スルモノハ帝國議會開會後ノ會計年度ヨリ施行ス

朕官設鐵道會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

法律第二十號

官設鐵道會計法

第一條 鐵道事業ヲ經營スル爲メ固定資本据置運轉資本ヲ置キ營業上ノ收入及其附屬雜收入ハ鐵道事業ノ費用ニ充ルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 鐵道事業ノ爲メ從來使用シ及將來増加スル所ノ土地軌道車輛停車

場工場家屋機械其他重要ナル器具ハ其固定資本トシ從來ノ流動資本ハ其据置運轉資本トス

第三條 鐵道營業ニ要スル費用固定資本ノ維持修理及補充費竝ニ損失金ヲ鐵道事業ノ歲出トス

第四條 鐵道事業ノ純益及固定資本ニ屬スル物件ノ賣拂代金ハ總テ一般ノ歲入ニ編入スヘシ

第五條 政府ハ毎年鐵道事業ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 鐵道事業ノ歲出額ハ豫算定額内ニ於テ實際ノ歲入及据置運轉資本ノ合計額ヲ超過スルヲ許サス

第七條 災害事變ニ因リ鐵道財産ニ大破損ヲ生シ豫算定額ヲ以テ修理スル

ニ足ラサル場合ニ於テ其費用ヲ補フ爲メ鐵道事業ノ歲出豫算ニ豫備費ヲ設ルコトヲ得

第八條 鐵道事業ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス其帝國議會ニ關涉スルモノハ帝國議會開會後ノ會計年度ヨリ施行ス

朕中央備荒儲蓄金預金局預金郵便貯金預所貯金郵便爲替金特別會計ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月十七日

內閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

法律第二十一號

第一條 中央備荒儲蓄金預金局預金郵便貯金預所貯金郵便爲替金ノ會計ハ特別トシテ一般ノ歲入歲出ト區分スヘシ

第二條 中央備荒儲蓄金ハ預金局ニ寄托シ其利子ハ之ヲ元金ニ編入スヘシ

第三條 備荒儲蓄法ニ依リ中央備荒儲蓄金ヲ使用セントスルトキハ其金額ヲ一般ノ歲入ニ組入レ一般ノ歲出トシテ之ヲ拂出スヘシ

第四條 預金局預金ハ日本銀行ヲシテ之レカ運用利殖ヲ取扱ハシメ其利殖金ヲ以テ利子ノ仕拂ニ充テ殘餘アルトキハ利子仕拂元金トシテ之ヲ積立預金ト共ニ運用利殖スヘシ

第五條 預金局預金ニ對シテ政府ヨリ仕拂フヘキ利子ハ其金額ヲ一般ノ歲

入ニ組入レ一般ノ歳出トシテ之ヲ拂出スヘシ

第六條 郵便貯金預所貯金ハ預金局ニ寄托シ其利子ヲ貯金利子ノ仕拂ニ充ツヘシ

第七條 郵便爲替ヲ取扱フ爲メ特ニ爲替資本ヲ置キ從來ノ資本額ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第八條 郵便條例第四百七條第三項ニ依リ政府ノ所得ニ歸シタル郵便爲替金ハ一般ノ歳入ニ組入ルヘシ

第九條 預金局預金、郵便貯金預所貯金、郵便爲替金ノ收入支出ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但勅令ヲ以テ之ヲ定ムルマテハ從前施行スル所ノ規程ニ依ルヘシ

第十條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス

朕紙幣交換基金特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

法律第二十四號

紙幣交換基金特別會計法

第一條 從來政府ニ於テ發行シタル紙幣ヲ廢止スル爲メ紙幣交換基金ヲ置キ漸次之ヲ交換セシム

第二條 政府所有ノ準備金壹千萬圓ハ之ヲ紙幣交換基金ニ組入ルヘシ

第三條 紙幣交換基金ノ會計ハ特別トシテ一般ノ歳入歳出ト區分スヘシ
第四條 毎年度ニ於テ紙幣交換基金ノ交換未済トナリタルモノハ漸次之ヲ翌年度へ繰越スヘシ

第五條 紙幣交換基金ノ收入支出ニ關スル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第六條 本法ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

朕鎖店銀行紙幣交換基金特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

法律第二十五號

鎖店銀行紙幣交換基金特別會計法

第一條 國立銀行條例第九十八條ニ於テ定メタル鎖店銀行紙幣交換基金ノ會計ハ特別トシテ一般ノ歳入歳出ト區分スヘシ

第二條 毎年度ニ於テ鎖店銀行紙幣交換基金ノ交換未済トナリタルモノハ漸次之ヲ翌年度へ繰越スヘシ

第三條 鎖店銀行紙幣交換基金ノ收入支出ニ關スル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 本法ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

朕官立學校及圖書館會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

鎖店銀行紙幣交換基金特別會計法 官立學校及圖書館會計法

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

文部大臣 子爵榎本武揚

農商務大臣 岩村通俊

法律第二十六號

官立學校及圖書館會計法

第一條 文部省直轄學校及圖書館並農商務省所管東京農林學校ハ資金ヲ所有シ政府ノ支出金資金ヨリ生スル收入授業料寄付金及其他ノ收入ヲ以テ其歳出ニ充ツルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 學校及圖書館ノ資金ハ從來所有スル蓄積金政府ヨリ交付シ若クハ他ヨリ寄付シタル動産不動産及歳入殘餘ヨリ成ルモノトス

第三條 教員事務員ノ俸給諸給旅費器具器械圖書標本費授業費試驗費生徒ニ關スル諸費事務處費營繕費雜支出其他寄付者ノ指定シタル費途ヲ以テ學校及圖書館ノ歳出トス

第四條 學校及圖書館ノ寄付金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其約束ニ從ヒ之ヲ使用シ其會計ハ別ニ之ヲ整理スヘシ

第五條 政府ハ毎年各學校及圖書館ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 學校及圖書館ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス其帝國議會ニ關涉スルモノハ帝

國議會開會後ノ會計年度ヨリ施行ス

朕陸軍給與ニ關スル委任經理ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

陸軍大臣 伯爵大山 巖

法律第二十七號

第一條 陸軍軍隊ノ糧食被服消耗品陣營具及馬匹ニ係ル給與ハ其定額ヲ各隊ニ交付シ隊長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得

第二條 陸軍諸學校生徒ニ屬スル給與其他軍隊ニ準據スヘキ必要アルモノ

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ經理ヲ委任スルコトヲ得

第三條 經理委任ニ係ル給與ノ殘金ハ各々其費目ニ屬スル積立金ト爲シ便宜之ヲ使用スルコトヲ得

第四條 經理委任ニ屬スル廢物賣却代及損壞遺失等ノ補償金ハ各々其經理費ニ充ルコトヲ得

第五條 委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ニ依ル

第六條 此法律ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

勅令

朕市町村ヲシテ徵收セシムル國稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年二月二十五日

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第十七號

明治二十二年^{三月}勅令第三十三號中市町村之ヲ徵收スヘシノ下「但菓子稅以下六項ハ隨時收入ニ係ルモノヲ除ク」ノ二十一字ヲ追加ス

朕國債ニ關スル仕拂及收入金決算ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月六日

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第二十號

第一條 會計法第十五條第二項ニ依リ國債元利金仕拂ノ爲メ銀行ニ現金ノ前渡ヲ爲シタルトキハ會計規則第九十八條ニ準シ銀行ヲシテ其仕拂ヲ會計検査院ニ證明セシムヘシ

第二條 法律命令ニ依リ日本銀行ヲシテ國債ノ募集又ハ借入ヲ取扱ハシムルトキハ日本銀行ハ大藏大臣定ムル所ノ期限ニ出納ノ計算書ヲ製シ會計検査院ノ検査判決ヲ受ル爲メ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ

第三條 大藏省國債局長ハ前條計算書ノ下検査ヲ執行シ其下検査書ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

朕在外公館經費中前金拂ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月十八日

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第三十二號

在外公館經費中左ノ費目ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

租 稅 區費其他雜稅 公館借料

朕作業及鐵道會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十日

大藏大臣 伯爵松方 正義

陸軍大臣 伯爵大山 巖

遞信大臣 伯爵後藤象二郎

農商務大臣 岩村通俊

勅令第三十三號

作業及鐵道會計規則

第一章 歲入歲出

第一條 左ノ諸收入ヲ以テ作業所ノ歲入トス

第一 作業上ノ收入

第二 附屬雜收入

在外公館經費中前金拂ノ件 作業及鐵道會計規則

第二條 造幣局、印刷局、富岡製絲所、電信燈臺用品製造所、廣島鑛山ニ於テハ左ノ諸費ヲ以テ歲出トス

第一 技術員ノ俸給諸給旅費

第二 職工人夫ニ給スル諸費

第三 作業用器具機械ノ維持修理及補充費

第四 材料素品購入代

第五 動力費

第六 作業場用備品消耗品費

第七 建物築造道路船舶ノ維持修理及補充費

第八 損失金

第三條 東京砲兵工廠、大阪砲兵工廠ニ於テハ左ノ諸費ヲ以テ歲出トス

第一 職工人夫ニ給スル諸費

第二 作業用器具機械ノ維持修理及補充費

第三 材料素品購入代

第四 機械運轉用品購入代

第五 作業場用備品消耗品費

第六 損失金

第四條 千住製絨所ニ於テハ左ノ諸費ヲ以テ歲出トス

第一 事務員技術員ノ俸給諸給旅費

第二 事務所費

第三 職工人夫ニ給スル諸費

第四 作業用器具機械ノ維持修理及補充費

- 第五 材料素品購入代
- 第六 機械運轉用品購入代
- 第七 作業場用備品消耗品費
- 第八 生産品販賣諸費
- 第九 土地建物ノ維持修理費
- 第十 損失金
- 第五條 鐵道事業ニ於テハ左ノ諸費ヲ以テ歲出トス
 - 第一 營業ニ従事スル職員ノ俸給諸給旅費
 - 第二 職工人夫ニ給スル諸費
 - 第三 鐵道築造物建物車輛器具機械ノ維持修理及補充費
 - 第四 材料素品購入代

- 第五 汽車及機械運轉用品購入代
- 第六 營業事務所停車場機械場客車用備品消耗品費
- 第七 損害賠償金
- 第八 訴訟費
- 第九 手數料保險料借料廣告料謝金外國注文品監査費其他營業上ノ雜費
- 第十 運輸收入割戻金
- 第十一 損失金
- 第二章 豫算決算
- 第六條 歲入歲出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度六月三十日マテニ各省豫定經費要求書ト俱ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ
- 第七條 歲入歲出ノ豫定計算書ハ科目ヲ分チ成ルヘク歲入ノ性質歲出ノ用

途ヲ明示スヘシ

第八條 所管大臣ハ其年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ受拂勘定表及固定資本價格増減表ヲ調製シ歳入歳出ノ豫定計算書ニ添付スヘシ

第九條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度八月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三章 收入支出

第十條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣各作業事務長ニ命シテ之ヲ執行セシムヘシ

各省大臣ハ作業支部局長ヲシテ歳出豫算ノ一部ヲ執行セシメントスルトキハ仕拂豫算ヲ以テ之ヲ命スヘシ

仕拂豫算ニ關スル規程ハ會計規則第十一條第十二條第十三條ニ依ルヘシ

第十一條 豫備費ノ支出ハ會計規則第十九條第二十條第二十四條ニ依ルヘシ

第十二條 作業所ノ收入官吏ハ會計規則第二十五條第二十六條第二十八條若クハ第二十九條ノ手續ニ依リ收入ヲ取扱フヘシ

第十三條 作業所ハ据置運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高及當該年度ノ收入濟歳入額ヲ以テ仕拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此仕拂元受高ヲ超過スルヲ得ス

第十四條 作業事務長又ハ作業支部局長ハ歳出ヲ支出スル爲メ金庫ニ向テ仕拂請求書ヲ發スヘシ

第十五條 仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ正當債主若クハ其代理人ノ爲メニスルニアラサレハ仕拂請求書ヲ發スルヲ得ス但俸給諸給ヲ除キ支部局及派

出工場ニ於テ仕拂ヲナス經費外國ニ於テ仕拂ヲナス經費職工人夫ノ給料諸手當ハ仕拂請求書ヲ發シ主任ノ官吏又ハ外國派出ノ官吏ヲ仕拂官吏トシテ現金ノ前渡ヲナスコトヲ得

第十六條 仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ總テ仕拂請求書ヲ發スル前其支出ハ正當ニシテ必要ナルヤヲ調査シ其金額ヲ算定シ又其支出ハ豫算ノ目的ニ違フコトナキヤ金額ハ豫算定額及仕拂元受高ニ超過スルコトナキヤヲ調査スヘシ

第十七條 仕拂請求書ニハ債主若クハ其代理人ノ氏名仕拂ヲ請求スル金額支出科目年度番號支出ノ目的ヲ記載スヘシ但俸給諸給ニ限り集合仕拂請求書ヲ發シ別ニ各受取人ノ金額氏名表ヲ添ユルコトヲ得
現金前渡ノ仕拂請求書ニハ前渡ヲ受クヘキ官吏ノ資格氏名前渡ヲナスヘ

キ金額支出科目年度番號支出ノ目的ヲ記載スヘシ

第十八條 仕拂請求書取扱ノ手續ハ會計規則第三十五條第三十六條第三十八條仕拂命令取扱ノ例ニ依ル

第十九條 各年度ノ歳出ニ屬スル仕拂請求書ヲ發スルハ毎年度三月三十一日ヲ限リトス

第二十條 現金前渡ヲ受タル官吏監督ノ規則ハ大藏大臣所管大臣ニ協議シテ之ヲ定ムヘシ

第二十一條 金庫ニ於テ仕拂請求書ニ對シテ仕拂ヲ執行シ又ハ之ヲ拒絕スルハ會計規則第四十三條第四十五條第四十六條仕拂命令取扱ノ例ニ依ル
第二十二條 毎年度内ニ收入ヲナスヘキ權利ヲ得テ當該年度内ニ收入濟トナラサルモノハ收入未濟トシテ順次翌年度へ繰越シ現ニ收入ヲナシタル

年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第二十三條 毎年度内ニ仕拂ヲナスヘキ義務ヲ生シ當該年度内ニ仕拂請求書ヲ發セサルモノハ支出未濟トシテ順次翌年度へ繰越シ當該年度經過後滿五箇年内ハ支出ノ請求アル毎ニ仕拂請求書ヲ發スヘシ但支出未濟ノ繰越額ハ支出調定濟額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルヲ得ス

第二十四條 毎年度内ニ於テ仕拂請求書ヲ發シ金庫ニ於テ仕拂ノ請求ヲ受ケサルモノハ仕拂未濟トシテ之ニ相當スル資金ヲ翌年度へ繰越シ第十八條ノ規程ニ依リ仕拂ヲナスヘシ

第二十五條 前條ノ仕拂未濟金ハ會計法第十八條ニ依リ仕拂義務ヲ免レタルトキハ其期滿免除トナリタル年度ノ一般ノ歳入ニ組入ルヘシ

第二十六條 收入官吏ハ其取扱タル收入ヲ記入スル帳簿ノ結果ニ依リ毎月

收入報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添へ翌月十五日マテニ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ但作業支部局ノ收入官吏ハ其收入報告書ヲ翌月七日マテニ作業事務本局ノ收入官吏ニ送付スヘシ

第二十七條 作業事務本局ノ收入官吏ハ作業全部ノ收入合計表ヲ調製シ諸收入官吏ノ收入報告書ニ添付シ前條ノ手續ニ依リ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十八條 會計主務官ハ其調定シタル支出ヲ記入スル帳簿ノ結果ニ依リ毎月支出報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添へ翌月十五日マテニ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ但作業支部局ノ會計主務官ハ其支出報告書ヲ翌月七日マテニ作業事務本局ノ會計主務官ニ送付スヘシ

第二十九條 作業事務本局ノ會計主務官ハ作業全部ノ支出合計表ヲ調製シ

諸會計主務官ノ支出報告書ニ添付シ前條ノ手續ニ依リ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四章 資本

第三十條 資本ハ總テ價格ヲ付シテ計算スヘシ

第三十一條 資本ノ價格ハ左ノ方法ニ依テ之ヲ定ム

- 一 土地ハ近隣地ノ賣買價格五箇年間ノ平均ニ依ル近隣ニ比較スヘキ相當ノ土地ナキトキハ五人以上ノ評價人ヲ定メ其評定價格ノ平均ニ依ル
- 二 建物鐵道其他築造道路船舶機械器具其他ノ物品ハ建築費又ハ購入價格ニ依ル建築費又ハ購入價格ノ不明ナルモノハ物件ノ輕重ニ依リ二人以上ノ評價人ヲ定メ其評定價格ノ平均ニ依ル

三 材料素品機械ノ運轉用品ハ購入價格ニ依ル

四 生産品ハ生産費ニ依ル但賣買ノ契約濟トナリタルモノハ其賣渡代價ニ依ル

第三十二條 土地ノ價格ハ前條ノ方法ニ依リ每五年ニ之ヲ改定スヘシ

第三十三條 公衆ノ用ニ供スル鐵道ノ固定資本ハ每五年ニ五人以上ノ評價人ヲ定メ其評定價格ノ平均ニ依リ之ヲ改定スヘシ

第三十四條 建物公衆ノ用ニ供セサル鐵道其他築造道路船舶機械器具其他ノ物品ハ永遠保存品ヲ除キ總テ保存期限ヲ定メ其期限ニ應シテ毎年價格ヲ遞減スヘシ

前項中固定資本ニ屬スル物件ヲ修理シタルトキハ其修理費ヲ以テ現年ノ價格ニ加ヘ再ヒ保存年限ニ應シテ價格ヲ遞減スヘシ

第三十五條 前條ノ物件ヲ修理シタルトキハ保存年限ヲ改定シテ之ヲ延ブ
ルコトヲ得

第三十六條 材料素品機械ノ運轉用品ノ年度内未消費ニ屬スルモノ市價ノ
低落又ハ毀損變質等ニ由リ其價格ヲ減スルトキハ毎年度ノ終リ當時ノ市
價ニ依リ其價格ヲ改定スヘシ

第三十七條 生産品ノ年度内未販賣ニ屬スルモノ需用ノ變動生産法ノ改良
又ハ毀損變質等ニ由リ其價格ヲ減シ實際ノ市價生産費以下トナルトキハ
毎年度ノ終リ當時ノ市價又ハ當年度ノ生産費ニ依リ其價格ヲ改定スヘシ

第三十八條 材料素品機械ノ運轉用品生産品其他ノ物品ニシテ不用ニ歸シ
タルモノハ總テ損失トシ其價格ヲ削除シテ不用物品ニ組入レ之ヲ賣拂フ
ヘシ

第五章 受拂勘定

第三十九條 受入ニ屬スルモノ左ノ如シ

第一 歳入ノ收入濟額

第二 收入未濟額

第三 据置運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高

第四 總生産品ノ價格

第五 總材料及素品ノ價格

第六 總機械運轉用品ノ價格

第七 作業場用總備品ノ價格

第八 代價支出濟未收物品ノ價格

第四十條 拂出ニ屬スルモノ左ノ如シ

- 第一 歳出ノ支出調定濟額
- 第二 支出未濟額
- 第三 据置運轉資本額
- 第四 賣拂代價收入濟物品ノ價格
- 第五 賣拂代價收入未濟既出物品ノ價格
- 第六 消費シタル材料及素品ノ價格
- 第七 消費シタル機械運轉用品ノ價格
- 第八 損失ニ歸シタル物品ノ價格
- 第九 損失金
- 第四十一條 作業所ハ受入ノ總額ヨリ拂出ノ總額ヲ扣除シ殘餘アルトキハ作業ノ益金トシテ其事業ヲ營ミタル年度ノ一般ノ歳入ニ納付スヘシ

第六章 工事及物件ノ賣買貸借

第四十二條 工事及物件ノ賣買貸借ニ關スル規則ハ總テ會計規則第七章ノ例ニ依ル

第七章 出納官吏

第四十三條 出納官吏ニ關スル規則ハ第四十四條ニ定メタル期限ノ外總テ會計規則第八章ノ例ニ依ル

第四十四條 會計規則第九十五條ノ例ニ依リ會計主務官及收入官吏ノ會計検査院ニ提出スヘキ計算書ヲ所屬省又ハ事務管理廳ニ送付スルハ毎年度經過後二箇月以内トス

第八章 帳簿

第四十五條 大藏省ハ各作業會計ノ主計簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額確定額收入

濟額收入未濟額歳出ノ豫算額仕拂元受高確定額支出濟額支出未濟額ヲ登記スヘシ

第四十六條 作業所ハ日記簿原簿補助簿ヲ備ヘ其事業ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第四十七條 收入官吏ハ收入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額確定額收入濟額收入未濟額ヲ登記スヘシ

第四十八條 會計主務官ハ支出簿調定總計簿ヲ備ヘ支出簿ニハ歳出ノ豫算額確定額支出調定濟額支出調定未濟額ヲ登記シ調定總計簿ニハ仕拂元受高支出調定濟額ヲ登記スヘシ

第四十九條 收入官吏現金前渡ヲ受タル官吏現金ヲ出納スル場合ニ於テハ現金出納簿ヲ備ヘ其出納ヲ登記スヘシ

第九章 雜則

第五十條 本規則ニ依リ出納官吏ヨリ會計検査院ニ提出スル所ノ證明書ニ關スル規程様式ハ會計検査院ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五十一條 前條ノ外本規則ニ掲クル諸書類帳簿ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第五十二條 此規則ニ於テ作業所トハ造幣局、印刷局、富岡製絲所、電信燈臺用品製造所、廣島鑛山、東京砲兵工廠、大阪砲兵工廠、千住製絨所及鐵道ヲ謂フ

第五十三條 此規則ニ於テ作業事務長トハ鐵道局長官、造幣局長、印刷局事務長、富岡製絲所長、東京砲兵工廠提理、大阪砲兵工廠提理、千住製絨所長ヲ謂フ

電信燈臺用品製造所及廣島鑛山ニ於テハ其事務管理長ヲ以テ作業事務長トス

第五十四條 本規則ハ明治二十三年度ヨリ施行ス

朕鎮守府造船材料資金會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十日

海軍大臣 伯爵西郷從道

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第三十四號

鎮守府造船材料資金會計規則

第一條 造船材料資金ハ貯蓄材料賣拂代金ヲ以テ歳入トシ材料購入代及損

失金ヲ以テ歳出トス

第二條 造船材料資金ノ歳出ハ實際ノ歳入額及資金ニ屬スル現金ノ持越高
ヲ以テ支辨スヘシ

第三條 歳入歳出ノ豫算決算ハ作業及鐵道會計規則第二章ノ例ニ依ル

第四條 收入支出ノ取扱ハ作業及鐵道會計規則第三章ノ例ニ依ル但作業事
務長ノ職務ハ主計部長之ヲ行フヘシ

第五條 貯蓄材料ノ價格ハ總テ購入及改製代價ヲ以テ計算スヘシ

第六條 貯蓄材料ヲ工場ニ使用スルトキハ購入代價ニ損減歩合ヲ加ヘテ之
ヲ賣拂フヘシ

第七條 貯蓄材料ノ損減歩合ハ毎年前々年度ノ損減高ニ基キ之ヲ定ム

第八條 歳入額收入未済額資金ニ屬スル現金ノ持越高及總材料ノ價格代價支出済未收物品ノ價格ヲ以テ受入トシ歳出額支出未済額資金額賣拂代收濟材料ノ價格損失ニ歸シタル材料ノ價格及損失金ヲ以テ拂出トシ受入ノ總額ヨリ拂出ノ總額ヲ扣除シ過剩アルトキハ造船材料賣拂益金トシテ之ヲ同年度ノ一般ノ歳入ニ納付スヘシ

第九條 材料ノ買入不用材料賣拂ノ規程ハ總テ會計規則第七章ノ例ニ依ル
第十條 出納官吏ニ關スル規則ハ總テ作業及鐵道會計規則第七章ノ例ニ依ル

第十一條 帳簿ニ關スル規則ハ總テ作業及鐵道會計規則第八章ノ例ニ依ル但作業所ハ主計部ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條 本規則ニ依リ出納官吏ヨリ會計検査院ニ提出スル所ノ證明書ニ

關スル規程様式ハ會計検査院ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十三條 前條ノ外本規則ニ掲クル諸書類帳簿ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第十四條 本規則ハ明治二十三年度ヨリ施行ス

朕政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十日

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第三十五號

歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ノ件

政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル規則ハ會計規則第八章及第九章中現金ヲ領收スル收入官吏ニ關スル各條ニ準據ス

朕官立學校及圖書館會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

文部大臣 子爵榎本武揚

農商務大臣 岩村通俊

勅令第五十三號

官立學校及圖書館會計規則

第一章 資金

第一條 資金ヲ分テ左ノ二種トス

第一 維持資金

第二 特別資金

維持資金ヨリ生スル利子其他ノ收入ハ學校一般ノ經費ニ充ツルモノトス
特別資金ヨリ生スル利子其他ノ收入ハ特定ノ用途ニ充テ其殘餘ハ該資金ノ増殖ニ充ツルモノトス

第二條 資金ハ所管大臣之ヲ管理スヘシ

第三條 資金ハ之ヲ支消スルコトヲ得ス但特別資金ニ限り用途指定者ノ同意ヲ以テ元金ヲ使用スルコトヲ得

第四條 資金ニ屬スル現金ハ總テ預金局ニ寄托スヘシ

第五條 資金ニ屬スル現金ヲ以テ不動産公債證書其他ノ證券ニ換ヘ又ハ資金ニ屬スル不動産公債證書其他ノ證券ヲ離權シ又ハ他ノ不動産公債證書其他ノ證券ニ換ヘントスルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ムヘシ但寄付ニ係ル不動産ハ寄付者ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ離權スルコトヲ得ス

第六條 資金ニ屬スル現金ノ會計ハ別途ノ歳入歳出トシテ之ヲ整理スヘシ

第二章 歳入歳出

第七條 左ノ諸收入ヲ以テ學校ノ經常歳入トス

- 第一 政府ノ支出金
- 第二 授業料及試験料

第三 寄付金

第四 公債證書及諸證券ノ利子又ハ配當金

第五 土地家屋ノ貸付料

第六 實驗用生産品賣拂代

第七 雜收入

第八條 左ノ諸費ヲ以テ學校ノ經常歳出トス

- 第一 教員事務員ノ俸給諸給及旅費
- 第二 學術用器具器械圖書及標本費
- 第三 授業費及試験費
- 第四 獎學費
- 第五 生徒費

第六 事務所費

第七 營繕費

第八 雜支出

第九條 左ノ諸收入ヲ以テ圖書館ノ經常歲入トス

第一 政府ノ支出金

第二 書籍借覽料

第三 寄附金

第四 公債證書及諸證券ノ利子又ハ配當金

第五 土地家屋ノ貸付料

第六 雜收入

第十條 左ノ諸費ヲ以テ圖書館ノ經常歲出トス

第一 事務員ノ俸給諸給及旅費

第二 圖書費

第三 閱覽室費

第四 事務所費

第五 營繕費

第六 雜支出

第十一條 經常歲出ハ經常歲入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ臨時ノ歲出ニ充ツル所ノ財源ハ其都度之ヲ定ム

第三章 豫算決算

第十二條 歲入歲出豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度六月三十日マテニ各省豫定經費要求書ト俱ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十三條 所管大臣ハ其年三月三十一日現在ノ資金明細目錄ヲ調製シ毎年
度ノ豫算ニ添付スヘシ

第十四條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度八月三十一
日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十五條 歳入歳出ノ豫定計算書及決定計算書ハ款項ニ区分シ成ルヘク歳
入ノ性質歳出ノ用途ヲ明示スヘシ

第十六條 經費ノ所要ヲ明ニスル爲メ款項ノ金額ヲ細分シタル豫算明細書
及決算明細書ヲ調製シ豫定計算書又ハ決定計算書ニ添付スヘシ

第四章 收入支出

第十七條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後所管大臣學校長若クハ圖書館長ニ命
シテ之ヲ執行セシムヘシ

第十八條 學校及圖書館會計主任ノ官吏ハ收入官吏トシテ會計規則第二十
五條第二十六條第二十八條若クハ第二十九條ノ手續ニ依リ學校又ハ圖書
館ノ收入ヲ取扱ヒ學校長又ハ圖書館長之ヲ監督スヘシ

第十九條 學校長又ハ圖書館長ハ經費ヲ支出スル爲メ仕拂命令官ノ責任ヲ
以テ金庫ニ向ヒテ仕拂請求書ヲ發スヘシ

第二十條 學校長又ハ圖書館長ハ正當債主若クハ其代理人ノ爲メニスルニ
アラサレハ仕拂請求書ヲ發スルコトヲ得ス

在外國人又ハ學術研究旅行者ニ物品ノ購買ヲ委托スル場合ニ於テハ其委
托ヲナシタル在外國人又ハ旅行者ヲ請取人トシテ仕拂請求書ヲ發シ概算
ヲ以テ現金ヲ交付スルコトヲ得

學術試験品標本品購入費獎學費生徒費事務所費ニ限り所管大臣ノ定ムル

所ニ依リ身元保證金額ノ二倍ヲ極度トシ學校會計主任ノ官吏ニ現金ノ前渡ヲナスコトヲ得

所管大臣ハ前項ニ依リ現金前渡ヲナスヘキ費目及金額ヲ定メタルトキハ之ヲ大藏大臣ニ通知スヘシ

第二十一條 學校長又ハ圖書館長ハ總テ仕拂請求書ヲ發スル前其支出ハ正當ニシテ必要ナルヤヲ調査シ其金額ヲ算定シ又其支出ハ豫算ニ違フコトナキヤ支出科目及所屬年度ヲ誤ルコトナキヤヲ調査スヘシ

第二十二條 學校長又ハ圖書館長ハ歳出豫算明細書ニ定メタル費目ノ彼是流用ヲ要スルトキハ所管大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 仕拂請求書ニハ受取人ノ氏名(概算渡現金前渡ノ場合ニハ受取人ノ資格トモ)仕拂ヲ要スル金額支出科目年度番號支出ノ目的ヲ記載

スヘシ但俸給生徒給與ニ限り集合仕拂請求書トシテ別ニ各受取人ノ金額氏名表ヲ添ユルコトヲ得

第二十四條 學校長又ハ圖書館長ノ發シタル仕拂請求書取扱ノ手續ハ會計規則第三十五條第三十六條第三十八條仕拂命令取扱ノ例ニ依ル

第二十五條 各年度ノ歳出ニ屬スル仕拂請求書ヲ發スルハ翌年度四月三十日ヲ限リトス

第二十六條 現金前渡ヲ受ケタル官吏監督ノ規則ハ大藏大臣所管大臣ニ協議シテ之ヲ定ムヘシ

第二十七條 金庫ニ於テ仕拂請求書ニ對シテ仕拂ヲ執行シ又ハ之ヲ拒絕スルハ會計規則第四十三條第四十五條第四十六條仕拂命令取扱ノ例ニ依ル
第二十八條 收入官吏ハ其收入ヲ記入スル帳簿ノ結果ニ據リ毎月收入報告

書ヲ調製シ参照書類ヲ添へ翌月五日マテニ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十九條 會計主務官ハ其支出ヲ記入スル帳簿ノ結果ニ據リ毎月支出調定濟報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添へ翌月五日マテニ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五章 年度繰越歳入殘餘

第三十條 毎年度内ニ於テ仕拂フヘキ義務ヲ生シ債主ノ支出請求ナキカ若クハ事故アリテ翌年度四月三十日マテニ仕拂請求書ヲ發セサルモノ及仕拂請求書ヲ發シタルモ同日マテニ金庫ニ於テ仕拂請求ヲ受ケサルモノハ支出未濟又ハ仕拂未濟トシテ翌年度ニ繰越シ計算ヲナスヘシ

第三十一條 工事又ハ製造費ニシテ年度内ニ仕拂義務ヲ生セス仕拂請求書

ヲ發スルニ至ラザリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越スコトヲ得

第三十二條 所管大臣ハ學校又ハ圖書館ノ經費ヲ繰越サントスルトキハ年度經過後一箇月以内ニ繰越計算書ヲ作り必要ノ参照書類ヲ添へ大藏大臣ノ承認ヲ經ヘシ

第三十三條 大藏大臣ハ前條繰越ヲ承認シタルトキハ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第三十四條 特ニ用途ヲ指定シタル寄付金ニシテ別途整理ヲ要スルモノ、毎年度内ニ仕拂請求書ヲ發スルニ至ラザリシ殘額ハ總テ翌年度へ繰越シ使用スヘシ其仕拂請求書ヲ發シテ年度内ニ金庫ニ於テ仕拂ヲ終ラザリシモノハ第三十條仕拂未濟金整理ノ例ニ依ル但本條ノ支出殘額及仕拂未濟金ハ寄付者ノ同意ヲ得テ資金トナスコトヲ得

第三十五條 第三十條ニ依リ繰越シタル支出未済及仕拂未済ノ金額ニシテ會計法第十八條ニ依リ期滿免除トナリタルモノハ總テ資金ニ組入ルヘシ
第三十六條 毎年度ノ歳入中仕拂済額及繰越額ヲ扣除シタル殘餘ハ總テ資金ニ組入ルヘシ

第六章 工事及物件ノ賣買貸借

第三十七條 工事及物件ノ賣買貸借ニ關スル規則ハ會計規則第七章ノ例ニ依ル

第七章 出納官吏

第三十八條 出納官吏ニ關スル規則ハ會計規則第八章ノ例ニ依ル

第八章 帳簿

第三十九條 大藏省ハ各學校圖書館會計ノ主計簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額確定

額收入済額收入未済額歳出ノ豫算額確定額支出済額支出未済額ヲ登記スヘシ

第四十條 收入官吏ハ收入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額確定額收入済額收入未済額ヲ登記スヘシ

第四十一條 會計主務官ハ支出簿ヲ備ヘ歳出ノ豫算額確定額支出調定済額支出調定未済額ヲ登記スヘシ

第四十二條 會計主任ノ官吏ハ現金出納簿ヲ備ヘ一切其取扱タル現金ノ出納ヲ登記スヘシ

第九章 雜則

第四十三條 本規則ニ依リ出納官吏ヨリ會計検査院ニ提出スル所ノ證明書ニ關スル規程様式ハ會計検査院ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十四條 前條ノ外本規則ニ掲クル諸書類帳簿ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第四十五條 所管大臣ハ部下ノ高等官ヲ以テ學校會計監理官トシ學校ノ會計ヲ監督セシムヘシ

第四十六條 本規則ハ明治二十三年四月會計法施行ノ日ヨリ施行ス
本規則ト抵觸スル命令ハ總テ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス

朕北海道官有未開ノ土地拂下貸下ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

内閣總理大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第五十五號

北海道官有未開ノ土地拂下貸下ニ關シテハ従前ノ規則ニ依ラシメ會計法第二十四條ニ規定スル競争ノ方法ヲ用ヒス

朕海軍兵備品會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

海軍大臣 伯爵西郷從道

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第六十四號

海軍兵備品會計規則

北海道官有未開ノ土地拂下貸下ニ關スル件 海軍兵備品會計規則

第一條 海軍兵備品トハ左ノ諸品ヲ云フ

一 兵器、彈藥、水雷及其附屬品

二 祕密圖書、測器海圖

三 艦營需品

四 被服、糧食

五 治療品

第二條 海軍兵備品ノ會計ハ本則ニ明文アルモノヲ除クノ外物品會計規則ニ依ル

第三條 鎮守府ニ在ル兵器、彈藥、水雷ノ保管出納ハ武庫主管ヲシテ掌理セシム

第四條 物品會計規則第十四條ニ依リ大藏大臣ニ送付スル報告書及同規則

第十五條第十七條ニ依リ會計検査院ニ送付スル計算書中兵器、彈藥、水雷

及其附屬品並祕密圖書、測器海圖ハ價格ノミヲ明記スヘシ

兵器、彈藥、水雷及其附屬品ノ數量ノ精確ハ檢閲官ノ證明書ヲ以テ保證シ

祕密圖書、測器海圖ノ數量ノ精確ハ圖書、測器ヲ管理スル官吏ヲ統轄スル

長官ノ證明書ヲ以テ保證スヘシ

第五條 本規則ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

朕府縣委托金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年三月二十七日

內務大臣 伯爵山縣有朋

大藏大臣 伯爵松方正義

農商務大臣 岩村通俊

勅令第六十六號

第一條 從來府縣廳ニ存在スル府縣委托金及之ニ屬スル財産ハ明治二十三年三月三十一日ノ現況ヲ以テ其府縣ノ地方稅經濟ニ下付スヘシ

第二條 府縣委托金ニ關シ從前府縣知事ニ於テ契約シタルモノハ其契約ヲ繼續シ從前府縣知事ヨリ發シタル命令ハ之ヲ履行スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大藏農商務三大臣ノ認許ヲ經ルニ非サレハ之カ命令ヲ變更スルコトヲ得ス

第三條 元金ハ務メテ之ヲ保存スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大藏農商務三大臣ノ認許ヲ經ルニ非サレハ之ヲ支消スルコトヲ得ス

第四條 元金ヨリ生スル利子ハ府縣會ノ議決ニ依リ公共ノ勸業費途ニ充用

シ又ハ之ヲ蓄積スルコトヲ得

第五條 府縣委托金中獻金又ハ寄附金等ヨリ成立ツモノニシテ當初使用ノ途ヲ指定シタルモノハ將來ト雖モ其使用ノ途ヲ變スルコトヲ得ス

第六條 府縣委托金ノ種類ハ大藏大臣之ヲ府縣ニ達スヘシ

朕整理公債條例ニ依リ募集又ハ償還スル公債金政府紙幣交換基金鎖店銀行紙幣交換基金特別會計ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年四月三日

大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第六十八號

公債金政府紙幣交換基金鎖店銀行紙幣交換基金特別會計ノ件

整理公債條例ニ依リ募集又ハ償還スル公債金政府紙幣交換基金鎖店銀行紙幣交換基金特別會計ノ規程ハ左ニ掲クルモノ、外總テ明治二十二年勅令第六十號會計規則ニ準據スヘシ

第一 大藏大臣ハ毎年公債整理金政府紙幣交換基金鎖店銀行紙幣交換基金ノ歳入歳出豫定計算書ヲ調製シ歳入歳出總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ

第二 大藏大臣ハ公債整理金政府紙幣交換基金鎖店銀行紙幣交換基金ノ歳入歳出決定計算書ヲ調製シ歳入歳出總決算ト共ニ帝國議會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ

第三 紙幣交換基金ハ仕拂命令ヲ發シテ現金ヲ日本銀行ニ前渡スルコトヲ得此場合ニ於ケル仕拂ノ證明ハ明治二十三年勅令第二十號ニ準

據スヘシ

第四 毎年度ニ於テ仕拂命令ヲ發スルハ毎年三月三十一日ヲ限リトス

第五 會計主務官及收入官吏ノ會計検査院ニ提出スヘキ計算書ヲ大藏大臣ニ送付スルハ毎年度經過後二箇月以内トス

第六 大藏省ハ公債整理金政府紙幣交換基金鎖店銀行紙幣交換基金會計ノ主計簿ヲ備フヘシ

朕官有森林原野及產物特別處分規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年四月三日

農商務大臣 岩村通俊

勅令第六十九號

官有森林原野及產物特別處分規則

第一條 農商務大臣ハ左ノ場合ニ限り官有森林原野及其產物ヲ競争ニ付セ

ス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡又ハ賣却スルコトヲ得

一 官廳又ハ公共ノ用ニ供スル爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ賣渡シ及其建築材料ヲ賣渡ストキ

二 開墾若クハ牧畜ノ爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ賣渡ストキ

三 鑛業ノ爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ建築材料又ハ薪炭材ヲ賣渡ストキ

四 植樹ノ爲メ森林原野ヲ貸渡ストキ

五 非常ノ災害ニ罹リタル地方人民ノ爲メ建築材料ヲ賣渡ストキ

六 從來ノ慣行ニ由リ地元人民ニ木竹薪炭材下草秣小柴若クハ土石ヲ

賣渡ストキ

七 部分木ヲ仕付人ニ賣拂フトキ

八 社寺建築營繕ノ爲メ該社寺上地ノ木材若クハ土石ヲ賣渡ストキ

九 地押調査ニ由リ發見シタル開墾地ヲ其開墾人ニ賣渡ストキ

十 建築其他ノ用ニ供スヘキ土石ヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ其發見人ニ賣渡ストキ

十一 季節アル生産物ヲ賣拂フトキ

十二 開墾牧畜若クハ植樹ノ爲メ貸渡シタル森林原野ノ區域内ニアル產物ヲ其借受人ニ賣拂フトキ

十三 林業附帶ノ用ニ供スル爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ產物ヲ賣渡

ストキ

十四 部分方法ニ由リ林産物製造ノ爲メ其原料ヲ請負人ニ賣渡スト

キ

十五 見積借地料一箇年金貳百圓ニ超ヘサル森林原野ヲ貸渡ストキ

十六 拾町歩以下ニシテ見積代價金貳百圓ニ超ヘサル森林原野ノ民有

地又ハ道路河川ニ介在セルモノヲ接續地ノ所有者ヘ賣拂フトキ

十七 見積代價金貳百圓ニ超ヘサル木竹ヲ賣拂フトキ

第二條 農商務大臣ハ競争入札ニ付シタル物件ノ豫定價格ニ達セス該入札

ヲ取消シタル場合ニ於テ爾後三十日以内ニ豫定價格ヨリ低カラサル代價

ヲ以テ同一物件ノ拂下ヲ望ム者アルトキハ隨意之ヲ賣拂フコトヲ得

省 令

大藏省令第八號

本年勅令第二號ニ依リ預金局ニ寄托スル保管金取扱規程左ノ通相定ム

明治二十三年三月十七日

大藏大臣 伯爵松方正義

保管金取扱規程

第一條 明治二十三年勅令第二號ニ依リ預金局ニ寄托スル保管金ハ此規程

ニ依テ取扱フモノトス但從來預金局ニ寄托シタルモノハ當分ノ内從前ノ

取扱ニ依ル

第二條 保管金ノ受渡ハ東京市内ニ於テハ預金本局其他ハ各地本金庫又ハ

支金庫ニ於テ取扱フモノトス

第三條 保管金ハ權利者ヨリ現金ヲ拂込ムモノト各廳ヨリ拂込ムモノトノ

二種ニ分チ之ヲ取扱フモノトス

第四條 權利者ヨリ現金ヲ拂込ムトキハ總テ取扱官廳ヨリ寄托通知書ヲ得テ之ニ現金ヲ添ヘ預金本局又ハ各地ノ金庫ニ差出スヘシ但出納官吏身元保證金ヲ拂込ムトキハ寄托通知書ヲ要セス

第五條 取扱官廳ハ權利者ヲシテ現金ヲ拂込マシムルトキハ第一號書式ニ依リ寄托通知書ヲ製シテ之ヲ權利者ニ交付スヘシ

第六條 預金本局又ハ各地ノ金庫ハ第四條ノ拂込ヲ受ルトキハ第二號書式ノ保管證書ヲ製シテ之ヲ權利者ニ交付スヘシ

第七條 各廳ヨリ現金ヲ拂込ムトキハ主任官吏ニ於テ第三號書式ニ依リ保管金送付書ヲ製シ現金ト共ニ之ヲ預金本局又ハ各地ノ金庫ニ送付スヘシ

第八條 預金本局又ハ各地ノ金庫ハ前條ノ拂込ヲ受ルトキハ第四號書式ノ

保管金領收證書ヲ製シテ之ヲ拂込官吏ニ交付スヘシ

第九條 本規程第五條第七條ニ依リ寄托通知書又ハ保管金送付書ヲ發スルモノハ豫メ取扱官廳ヨリ廳印及取扱主任官吏印ノ印鑑ヲ預金本局又ハ各地金庫ヘ送付スヘシ

廳印ノ改正又ハ主任官吏ノ變更改印ノトキハ廳印又ハ主任官吏印ノ印鑑ヲ預金本局竝ニ取扱金庫ヘ送付スヘシ

第十條 權利者ニ於テ其拂込タル保管金ノ拂戻ヲ請求セントスルトキハ取扱官廳ノ裏書ヲナシタル保管證書ヲ得テ之ヲ預金本局又ハ當初拂込ヲナシタル金庫ニ差出スヘシ

第十一條 取扱官廳ハ保管金ノ拂戻ヲ要スルトキハ保管證書ニ第五號書式ノ如ク裏書ヲナシ之ヲ權利者ニ交付スヘシ

第十二條 取扱官廳ハ保管金ノ政府ノ所得ニ歸シタル場合ニ於テハ保管證書ノ裏面ニ其事由ヲ記載シ收入官吏ヲシテ一般歳入トシテ之ヲ金庫ニ拂込マシムヘシ

第十三條 保管金領收證書ヲ發シタル保管金ニシテ失權ノ期限ニ至ルトキハ預金局ニ於テ一般歳入トシテ納付ノ手續ヲナシ其旨ヲ保管金ヲ寄托シタル官廳ヘ通知スヘシ

第十四條 取扱官廳ハ保管金ノ幾分ヲ歳入トナシ其幾分ヲ權利者ニ拂戻スコトヲ要スルトキハ保管證書ニ事由書ヲ付シ保管證書ノ分割ヲ當初拂込ヲナシタル預金本局又ハ各地ノ金庫ニ請求スヘシ

第十五條 預金本局又ハ各地ノ金庫ハ前條ノ請求ヲ受ルトキハ新ニ二葉ノ保管證書ヲ製シテ舊保管證書ト交換スヘシ

第十六條 預金本局又ハ各地金庫ニ於テ權利者ヨリ保管金拂戻ノ請求ヲ受ルトキハ保管證書ト引換ニ其金員ヲ權利者ニ交付スヘシ

第十七條 各廳ヨリ數人ノ權利者ニ屬スル保管金ヲ取纏メテ拂込ムトキハ保管金送付書ニ各權利者ノ金額氏名及期滿失効ノ年月日ヲ記シタル別紙ヲ添付スヘシ但權利者ノ不明ナルモノハ其旨ヲ保管金送付書ニ記入スヘシ

第十八條 權利者ニ於テ各官廳ヨリ拂込タル保管金ノ拂戻ヲ受ントスルトキハ其事由ヲ具シテ其取扱官廳ニ申出ヘシ取扱官廳ハ之ヲ調査シテ拂戻スヘキ理由アリトスルトキハ第六號書式ノ拂戻金證明書ヲ權利者ニ交付スヘシ

權利者ハ拂戻金證明書裏面ニ式ノ如ク記名捺印シ之ヲ預金本局又ハ當初其官廳ヨリ拂込タル金庫ニ差出シテ其拂戻ヲ受クヘシ

第十九條 預金本局又ハ各地金庫ハ權利者ヨリ前條ノ請求ヲ受ルトキハ取扱官廳及主任官吏ノ印影ニ照合シ相違ナキモノハ領收證書ト引換ニ其金員ヲ權利者ニ交付スヘシ

第二十條 保管金ノ利子ハ毎年六月十二月ノ二期ニ分チ之ヲ計算スヘシ

第二十一條 保管金ノ利子ハ毎年七月一月預金局ニ於テ各權利者毎ニ第七號書式ノ保管金利子證券ヲ製シ取扱官廳ヘ送付スヘシ

取扱官廳ニ於テ前項ノ證券ヲ受取タルトキハ取扱主任官吏ニ於テ式ノ如ク檢印シ之ヲ權利者ニ交付スヘシ

權利者ニ於テ保管金利子證券ヲ受取タルトキハ之ヲ以テ利子仕拂ヲ保管金利子證券ニ記載アル日本銀行本支店又ハ其代理店ニ請求スヘシ

第二十二條 日本銀行本支店又ハ其代理店ハ前條ノ保管金利子證券ト引換

ニ現金ヲ仕拂フヘシ

第二十三條 保管證書ヲ亡失シタルトキ第十一條ノ裏書ヲナサ、ルモノハ再渡シ其裏書ヲナシタルモノハ再渡セス取扱官廳ヨリ裏書同様ノ證明ヲ得尙保證人ヲ立テシメ保管金ヲ拂戻スヘシ
保管證書ヲ汚染毀傷シ證書ノ要點ヲ見認メ難キニ至リタルモノハ前項ニ準シテ證書ノ交換又ハ保管金ノ拂戻ヲナスヘシ

「第一號書式(寄托通知書)」
寄托通知書

「」ノ内及印章ハ孰モ朱

一金何圓也

府縣郡市町村番地

何

某

保管金ノ事由

「何々工事受身元保証金等」

利率

期限

右保管ノ爲メ納付セシメ候也

年 月 日

何

廳

印

預金局長氏名殿

(各地ナラハ何地何金庫)

取扱主任

官 氏 名 印

第三號書式(保管證書)

第何號

保管證書何年何月何日(分割ノトキノ例)
第何號金何圓ノ内分割

何年何月何日第何號金何圓ノ

保管證書亡失(又ハ汚染)ニ付再渡(亡失又ハ汚染毀傷)
(染毀傷)ノトキ再渡ノ例

府縣都市町村番地

何 某

一金何圓也

取扱官廳

保管金ノ事由

利率

期限

寄託年月日

拂戻年月日

印

印

第何號

保管證書 此證書ハ貸付譲與又ハ

一金何圓也

取扱官廳

保管金ノ事由

利率

期限

右保管候也

年 月 日

預金局長氏名 印

(各地ハ何地何金庫)

何 某 殿

第三號書式(保管金送附書)

保管金送附書

一金何圓也

保管金ノ事由

権利者ノ氏名

(數人ノ権利者ニ屬シ別紙ニ記スルトキハ其旨記載スヘシ)

保管金取扱規程

期滿失効ノ年月日
右保管ノ爲メ及送附候也

年 月 日

何 廳 印

取扱主任

官 氏 名 印

預金局長氏名殿

〔各地ナラハ何地何金庫〕

〔第四號書式(保管金領收證書)〕

第 何 號

一金何圓也

保管金ノ事由

權利者ノ住所氏名

期滿失効ノ年月日

領收ノ年月日

何 廳 官 氏 名

〔別紙ニ數人ノ氏名ヲ記ス
(ルモノハ其旨認ムヘシ)〕

印

第 何 號

保管金領收證

一金何圓也

保管金ノ事由

期滿失効ノ年月日

右領收候也

年 月 日

何 廳

官 氏 名 殿

預金局長氏名 印

〔各地ナラハ何地何金庫〕

〔第五號書式(保管證書)〕

表書金額何々ニ付府縣郡市町村番地某ニ於テ拂戻シヲ受クヘキ事ヲ證ス

年 月 日

何 廳

印

保管金取扱規程

〔第六號書式(拂戻金證明書)〕

拂戻金證明書

預金本局(又ハ何地)

保管金領收證書

第何號

一金何圓也

保管金ノ事由

保管金領收證書ノ年月日

利率

前書ノ金額何々ニ付府縣郡市町村番地某ニ於テ拂戻シテ受クヘキ事ヲ證ス

年月日

何 廳 印

取扱主任

官 氏 名 印

取扱主任

官 氏 名 印

〔返書領收證書〕

表書金額正ニ領收候也

年 月 日

府縣郡市町村番地

氏 名 印

〔第七號書式(保管金利子證券)〕

保管金利子證券

第 號

一金

利 子	明 治 何 年 何 月 何 日 何 箇 月 分
取 扱 官 廳	
權 利 者	
現金仕拂場所	

保管金取扱規程

保管金利息證券

第 號

一金

利 子	明治何年何月ヨリ 明治何年何月迄 何箇月分
取扱官廳	
權 利 者	
現金仕拂場所	

右之利子此證券引換ニ現金可相渡候也

年 月 日

大藏省預金局長氏名

印

取扱主任官

氏

名

印

「裏面書式」

表書之金額正ニ領收候也

年 月 日

權利者

氏

名

印

訓 令

大藏省訓令第六號

金庫出納役

明治二十二年^{十二}月 勅令第二百二十六號金庫規則第六條ニ依リ中央金庫本金庫支金庫ノ現金保管出納ヲ取扱フ場合ニ於テ金櫃帳簿ハ銀行本業部ト混淆セサル様判然區畫シ一見シテ其金庫ノ金櫃帳簿ノ藏置シアルモノタルコトヲ識ルニ足ルヘキ標章ヲ掲クヘシ

明治二十三年二月十五日

大藏大臣 伯爵松方正義

大藏省訓令第八號

府 縣 沖繩縣
ヲ除ク

中央金庫及本支金庫ノ金櫃帳簿ノ銀行本業部ト混淆セサル様判然區畫シ一見シテ其金庫ノ金櫃帳簿ノ藏置シアルモノタルコトヲ識ルニ足ルヘキ標章ヲ掲クヘシ

一定ノ納期アル各種ノ國稅ニシテ其期日內皆納ニ至ラサルモノアルトキハ其實況及處分費等別表書式ニ據リ報告書ヲ調製シ納期後日數五十日以内主稅局へ送付スヘシ

但本年一月納期ニ係ルモノニ限り來ル三月三十一日迄ニ報告スヘシ

明治二十三年二月十九日

大藏大臣 伯爵松方正義

明治何年何月中徵收スヘキ國稅滯納處分施行實況報告表

種目	各稅人員	人員計	稅額
納稅期限ヲ滿キ完納セサルモノ			
徵收法第十三條ノ報告ヲ受ケタルモノ			
督促令狀ヲ發シタルモノ			
財産差押命令書ヲ發シタルモノ			
命令書ヲ發シタル後財産差押著手以前ニ完納シタルモノ			
財産差押後發却公告著手以前ニ完納シタルモノ			
財産賣却ノ公告ヲナシタルモノ			

財産賣却ヲ決行シタルモノ			
財産ヲ買上ケタルモノ			
處分法第九條ニ依リ完納又ハ代納シタルモノ			
處分法第五條ニ係ルモノ			

凡例

一本表ハ地租及酒造、醬油、烟草、菓子、賣藥等ノ各稅、牛馬賣買免許稅、船車稅、度量衡稅等ニシテ其納期中完納セサルモノニ對シ處分シタル結果ヲ記入スヘキモノトス

一各稅人員ノ欄ヘハ一稅目限、其頭字ト不納人員ヲ記入スヘキモノトス（假ヘハ地五〇、酒造五、醬油五、烟製三、菓小一〇、船五〇ト記スルカ如シ）

一稅額ノ欄財産賣却ノ公告ヲナシタルモノ、財産賣却ヲ決行シタルモノ、財産ヲ買上ケタルモノ、ノ三項ニ該當スル區ヘハ各其滯納稅額ヲ記入スヘキモノトス

一同上ノ欄末項ノ處分法第五條ニ係ルモノトアル區ヘハ官ノ損失ニ係ル
稅額ヲ記入スヘキモノトス

一處分法第四十條ノ如キ場合アリテ本表調製ノ期日迄ニ結了セス隨テ表
中記入ノ員數確定セサルモノアルトキハ見込ヲ以テ其人員稅額ヲ記入
シ其要領ヲ備考ニ摘記スヘキモノトス

明治何年何月中徴收スヘキ國稅滯納處分費報告表

費目	處分費額	處分費ノ内收入額	官ノ損失額
督促令狀手数料			
差押調書及封印關關製費			
滯納又ハ其債主若クハ負債者ニ對スル通信費			
評價人看守人又ハ親受人ノ給料			
差押物件ノ運搬保管又ハ賣却ニ要セン諸費			
公告費			
訴訟ニ要セン諸費			

計			
---	--	--	--

凡例

- 一處分費額ノ幾分ヲ收入シタルモノアルトキハ先ツ督促令狀手数料ノ額ヲ收入額ニ算入シ自餘ノ額ヲ他六項内ノ收入額ニ算入シテ記載スヘキモノトス
- 一事故アリテ本表調製ノ期日迄ニ處分結了セス隨テ表中記入ノ金額確定セサルモノアルトキハ已ニ支出シタル金額ハ勿論將來支出ヲ要スヘキ見込額ヲ併記シ其之レヨリ收入スヘキ金額モ亦見込ヲ立テ各欄ニ合記シ更ニ之ヲ内何程ト腹書スヘキモノトス

大藏省訓令第九號

印紙類會計官吏身元保證金取扱方

北海道廳 府縣 沖繩縣ヲ除ク

印紙類會計官吏身元保證金取扱方左ノ通心得ヘシ

明治二十三年二月二十日

大藏大臣 伯爵松方正義

一 印紙類會計官吏會計規則第百三條但書ニ依リ土地ヲ以テ現金ニ代用セントスルトキハ北海道廳長官府縣知事ニ申出其認可ヲ受クヘシ

一 北海道廳長官府縣知事ハ前項ノ認可ヲナシタルトキハ其旨大藏大臣ニ報告スヘシ但本年四月一日在職官吏ノ申出ヲ認可シタルモノハ本年四月十五日マテニ取纏メ之ヲ報告スヘシ

一 印紙類會計官吏本年勅令第四號第二條但書ニ依リ身元保證金ヲ納付スルモノノ情願ハ北海道廳長官府縣知事ニ於テ取纏メ願書ハ留メ置キ本年三月五日限り一人別ニ納付金額期限ヲ記シタル摘要書ヲ大藏大臣ニ送付シ

其認可ヲ稟請スヘシ

一 印紙類會計官吏會計規則第百二條第二項ニ依リ保證人ヲ立テ身元保證金ノ全部又ハ一部ノ免除ヲ請求スルノ情願ハ北海道廳長官府縣知事ニ於テ取纏メ願書ハ留メ置キ其都度一人別ニ身元保證金額及保證人ノ資産見積價格ヲ記シタル摘要書ヲ大藏大臣ニ送付シ其認可ヲ稟請スヘシ

大藏省訓令第十一號

北海道廳 府縣

會計規則第三十三條但書集合仕拂命令ニ添付スヘキ各債主ノ金額氏名表書式經常歲出第一部恩賞諸祿ノ仕拂ニ係ルモノハ左ノ通心得ヘシ

明治二十三年二月二十一日

大藏大臣 伯爵松方正義

集合仕拂命令第何號金額氏名表

(款)何々(項)何々

一金何圓

何之誰外何名

事由何々

内譯

金何圓

何之誰

金何圓

何之誰

金何圓

何之誰

以上

大藏省訓令第十二號

北海道廳 府縣

明治二十三年度以降恩賞諸祿ノ仕拂ハ明治二十二年七月勅令第八十九號ニ據リ仕拂命令ヲ北海道廳長官府縣知事ニ委任ス其取扱方法ハ左ノ通り之ヲ定ム

明治二十三年二月二十一日

大藏大臣 伯爵松方正義

恩賞諸祿仕拂取扱順序

第一條 恩賞諸祿ノ仕拂ヲ要スルトキハ北海道廳長官府縣知事ハ仕拂期月ノ三十日前マテニ第一號書式ノ支給金額明細書ヲ製シ之ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ

第二條 恩賞諸祿中一時賜金給助金賑恤金等ノ仕拂ハ其仕拂ヲ要スル毎ニ第一號書式ニ準シ支給金額明細書ヲ製シ之ニ履歷書ヲ添ヘ(賑恤金ノ仕拂ニハ履歷書ヲ

恩賞諸祿仕拂取扱順序

要^セ大藏大臣ニ差出スヘシ但内閣及各省院所屬ノ一時賜金給助金等ニ係ル履歷書ニハ本人ノ現住地ヲ詳記スヘシ

第三條 大藏大臣ハ第一條若クハ第二條ノ明細書ニ據リ北海道廳長官府縣知事ニ仕拂委任ノ命令ヲ發ス

第四條 北海道廳長官府縣知事ハ前條ノ仕拂委任ノ命令ヲ受ルトキハ會計規則第三十二條ヨリ第三十五條マテノ手續ニ據リ仕拂命令ヲ發スヘシ

會計主務官ハ會計規則第三十六條ヨリ第三十八條マテノ手續ニ據リ仕拂ヲ取扱ヘシ

第五條 恩賞諸祿ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ會計主務官ハ會計規則第四十九條ノ支出報告書ニ第二號書式ノ内譯明細書ヲ添ヘ大藏大臣ニ差出スヘシ

第六條 恩賞諸祿中會計規則第六十條ニ據リ過年度ノ支出ヲ要スルモノアルトキハ第一條若クハ第二條ニ準ス

第七條 恩賞諸祿仕拂以前ニ於テ減額スヘキモノアルトキハ北海道廳長官府縣知事ハ第三號書式ノ減額報告書ヲ製シ之ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ

第八條 恩賞諸祿中誤拂又ハ過渡金等アルトキハ北海道廳長官府縣知事ハ第四號書式ノ歳入調書ヲ製シ之ヲ大藏大臣ニ差出シ同大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第九條 會計主務官ハ毎年度經過後會計規則第九十五條ニ準シ恩賞諸祿ノ計算書ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ

第十條 年金恩給ノ受領者其交付期節ニ臨ミ他ノ管下ヘ移轉シタルトキハ

轉換先ノ地方廳ニ通報シ該廳ヨリ年金證若クハ恩給證書及生存證書檢
閱濟ノ報告ヲ得テ後チ送金ノ手續ヲ以テ年金若クハ恩給金ヲ交付スヘ
シ

(第一號書式)

明治何年度
何年何月分
經常歲出第一部恩賞諸祿
支給金額明細書

(用紙美濃紙) 以下書式中 内ハ執事朱書
(渡期節ノ異ナルモノハ別表ニ開製スヘシ)

何 廳

(表紙)

恩賞諸祿仕拂取扱順序

恩賞諸祿仕拂取扱順序

	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘
恩賞諸祿									
賞與年金(賞與之多寡以年之長短に依りて)									
終身年金 仕拂場所某金庫									
數何等何額 姓名 年額 120円									
此何期分	60	00	0						
數何等何額 姓名 年額 120円									
此何期分	60	00	0	120	00	0			
數何等何額 姓名 年額 100円									
此何期分				50	00	0	170	00	0
文官恩給									
退官給 仕拂場所某金庫									
終身恩給 姓名 年額 100円									
此何期分				50	00	0			
傷疾疾病恩給 姓名 年額 100円									
此何期分				50	00	0			
扶助料									
寡婦扶助料 姓名 年額 100円									
此何期分				50	00	0	150	00	0
陸軍恩給(兼要恩給等)									
退職給 仕拂場所某金庫									
終身恩給 姓名 年額 100円									
此何期分				25	00	0			
扶助料									
寡婦扶助料 姓名 年額 100円									
新規下賜ニ依リ何年何月何日ヨリ何月何日ニ至ル分									
				15	00	0			
舊令退役給									
終身恩給 姓名 年額 100円									
此何期分				25	00	0			
舊令扶助料									
寡婦扶助料 姓名 年額 100円									
何年何月何日何々ニ依リ何月何日マテノ分									
				15	00	0	80	00	0

	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘
沖繩縣諸祿									
沖繩縣金祿 仕拂場所某金庫									
士族金祿 姓名 領地高年額 100円									
此何期分	50	00	0						
姓名 知行高年額 100円									
此何期分	50	00	0	100	00	0			
沖繩縣社祿 仕拂場所某金庫									
役知 役名 年額 50円									
此何期分				25	00	0			
役俸 役名 年額 50円									
此何期分				25	00	0			
沖繩縣寺祿 仕拂場所某金庫									
役知 役名姓名 年額 50円									
此何期分				25	00	0			
役俸 役名姓名 年額 50円									
此何期分				25	00	0			
飯米 役名姓名 年額 50円									
此何期分				25	00	0	225	00	0
明治何年度歳出ノ内何年何月中支出ヲ要スルモノ書面之通ニ									
候也									
明治何年何月何日									
何廳長官氏名印									
大藏大臣宛									

科 目	仕拂命令 委任金額			仕拂金額			仕拂未済 及減額		
	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘
恩賞諸祿 文官恩給 退任命令年月日	500	00	0	400	00	0	70	00	0
賜年 金日給料	100	00	0	100	00	0			
一時 委任軍助	0			70	00	0			

事由	(第二號書式)
終身恩給何年何月何日何所 名何年何月何日何所 不明其他何々ノ事故ニ 依リ仕拂未済 同上姓名何年何月何日何所 職何年何月何日何所 ヲ受領其他何々ノ事故ニ 依リ減額報告書發送ノ分 委任金額ニ對シ差違ヲ (ス爲メニ仕拂未済及減額 ヲ摘シルモノトス)	(用紙表濃紙) 明治何年度 何年何月中 經常歳出第一部恩賞諸祿 支出報告内譯明細書 何 廳
何年何月何日仕拂委任命 令高何回ノ内何年何月何 日失踪其他何々ノ事故ニ 由リ某分仕拂未済ノ處復 歸又ハ事故解融ニ由リ仕 拂タル分 前同ノ明細書仕拂未済額 (ヲ戻ニ仕拂タルトキハ 此例ニ準シ區分ヲ要ス)	

<p>恩賞諸祿</p> <p>賞 勲 年 金</p> <p>終 身 年 金</p> <p>勲何等何額 姓名 年額 100 円</p> <p>第何期分何月何日付仕拂命令委任額若 千圓ノ内何年何月何日何々ノ事由ニ依 リ同日又ハ前日迄支給何日ヨリ減額 (最前仕拂ノ節指定ノ仕拂場所ヲ記入 スヘシ以下同シ)</p> <p>何 + _____</p> <p>_____</p> <p>明治何年何月何日 何廳長官氏名印 大 蔵 大 臣 宛</p>	<p>仕拂命令委任額減</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>円 額 區</th> <th>円 額 區</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2 77 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2 77 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2 77 8</td> </tr> </tbody> </table>	円 額 區	円 額 區	2 77 8		0	2 77 8		2 77 8
円 額 區	円 額 區								
2 77 8									
0	2 77 8								
	2 77 8								

(表紙)

(第三號様式)

明 治 何 年 度

經 常 歳 出 第 一 部 恩 賞 諸 祿

減 額 報 告 書

(用紙美濃紙)

何 廳

百六

恩賞諸祿 文官恩給 退官給 終身恩給 姓名 年額 100円 第何期分何月何日何仕拂委任命令額若 千圓ノ内已ニ仕拂濟ノ内何年何月何日 何々ノ事由ニ依リ同日マテ支給何日ヨ リ過剩某所金庫へ納入スヘキ分 一時賜金 五年以上奉職退官者賜金	誤拂(過渡)金額					
	円	銭	厘	円	銭	厘
	5	55	5			
	2	30	0	7	85	5
				7	85	5

明治何年何月何日
何廳長官氏名印
大藏大臣宛

(表紙)

明治何年度
經常歳出第一部恩賞諸祿
誤拂(過渡)金額歳入調書

(第四號書式)
(用紙美濃紙)

何 廳

大藏省訓令第十五號

金庫出納役

金庫出納事務規程第三十條ニ據リ金庫相互間回送金振換金取扱順序左ノ通相定メ本年四月一日ヨリ施行ス

明治二十三年二月二十五日

大藏大臣 伯爵松方正義

金庫相互間回送金振換金取扱順序

第一章 回送金

第一條 大藏大臣ハ國庫金運轉配賦ノ爲メ各金庫相互間ニ於テ回送金ヲ爲サシメントスルトキハ其回送金ノ拂出ヲ爲サシムヘキ金庫名金額及回送金ヲ受入ヘキ金庫名ヲ明記シタル令達書ヲ大藏省國庫主任ノ局長ヲシテ中央金庫ヘ達セシム

第二條 中央金庫ハ各地本金庫ヘ回送金ヲ爲スヘキ旨ノ令達ヲ受ケタルト

キハ三日以内ニ送金手形又ハ參著拂ノ爲換手形ヲ以テ各地本金庫ヘ發送スヘシ

前項送金手形爲換手形ノ便ナキトキハ回送金ノ令達ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ現金ヲ以テ發送スヘシ但シ銅貨ノ如キ荷造等ノ爲メ日子ヲ要スヘキ見込ノモノアラハ回送令達ヲ得サル前豫メ其旨申立許可ヲ受ケ置クヘシ

中央金庫ハ各地本金庫ヨリ中央金庫ヘ又ハ各地甲本金庫ヨリ乙本金庫ヘ回送金ヲ爲スヘキ旨ノ令達ヲ受ケタルトキハ直ニ之レヲ其回送金ヲ爲スヘキ各地本金庫ヘ達シ第三條ノ手續ニ據リ回送ヲナサシムヘシ(大藏省ノ令達ニ電

信ヲ以テ傳達スヘキ旨記入シアルモ
ノハ中央金庫ニ於テ即日電達スヘシ)

第三條 各地本金庫ハ中央金庫ヨリ回送金ノ達ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ送金手形又ハ參著拂ノ爲換手形ヲ以テ回送先ノ金庫ヘ發送スヘシ

送金手形爲換手形ノ便ナキトキハ回送金ノ達ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ現金ヲ以テ發送スヘシ但シ銅貨ノ如キ荷造等ノ爲メ日子ヲ要スヘキ見込ノモノアラハ回送令達ヲ得サル前豫メ其旨申立許可ヲ受ケ置クヘシ

第四條 第二條第二項第三條第二項ノ現金ヲ以テ回送セシモノ回送先キ金庫ヘ到着セシトキハ即日授受ヲ了スヘシ（即日ニ貨幣鑑定ヲ了ラサルモノハ鑑定ヲ了セシ日ヲ以テ授受スヘシ）若シ回送金ノ到着金庫閉鎖ノ後ナルトキ竝ニ金庫閉鎖ノトキ迄ニ鑑定ヲ了セサル場合ニ於テハ其金額ハ封印ノ備受人ヘキ金庫ヘ保護預ケニ爲シ置キ其翌日必ス授受スヘシ

中央金庫ニ於テハ各金庫間里程ノ遠近ト運輸ノ便否ヲ量リ現金回送ノ途

中ニ要スル日數ヲ豫定シ大藏省ノ認可ヲ受ケ置クヘシ若シ豫定日限ヨリ遲達セシトキハ其延著セシ事由ヲ證明セシムヘシ

第五條 回送金ヲ受人ルヘキ金庫ニ於テ第二條第一項第二項及第三條ノ回送金ヲ領收セシトキハ第一號書式ノ領收證書ヲ調製シ之レヲ回送金ヲ發送セシ金庫ヘ交付スヘシ

第六條 第二條第一項及第三條第一項ノ回送金ニシテ其手形拂込ノ期日ヲ經過シ尙ホ拂込ヲ爲サルモノアルトキハ日本銀行ニ於テ其金額ヲ回送金ヲ受ケ入ヘキ金庫ヘ代納スヘシ

第七條 第二條第一項第二項及第三條ニ據リ回送金ヲ發送シタル中央金庫若シクハ各地本金庫ハ回送先ノ金庫ヨリ領收證書ヲ得テ其責任ヲ免ル、モノトス

第二章 振換金

第一款 中央金庫ヨリ經費金振換仕拂

第八條 中央金庫ハ各地ノ受取人へ現金仕拂ノ爲メ各地本金庫ヲシテ振換
拂ヲ爲サシメントスルトキハ其振換拂ヲ爲サシムヘキ各地本金庫名及金
額ヲ大藏省へ申出許可ヲ受クヘシ

第九條 中央金庫ハ前條大藏省ノ許可ヲ受ケタルトキハ第二號書式ノ振換
拂證書ヲ製シ其甲號ハ受取人へ送付シ（金庫出納事務規程第十五條ニ據リ）其乙號ハ振換拂
ヲ爲サシムヘキ金庫へ案内トシテ送付スヘシ
本金庫ヲシテ其所在地外ノ受取人ニ向ケ振換拂ヲ爲サシムル場合ニハ甲
乙號振換拂證書ニ其旨ヲ記入シ振換拂證書甲乙號共ニ之レヲ該本金庫へ
送付スヘシ

第十條 各地本金庫ニ於テ中央金庫ノ乙號振換拂證書ヲ得タルトキハ之レ
ヲ保存シ置キ追テ受取人ヨリ甲號振換拂證書ヲ以テ現金仕拂ノ請求アル
トキ第九條第一項ノ乙號振換拂證書ニ對照シ正確ナルコトヲ認メ其金額
ヲ交付スヘシ

各地本金庫ニ於テ第九條第二項ノ振換拂ヲ爲スヘキ金庫所在地外ノ受取
人へ送金スヘキ甲乙號振換拂證書ヲ受ケタルトキハ送金手形爲換手形
收入官吏ノ監守證若シクハ現金ヲ以テ受取人へ交付シ受取人ヨリ金庫出
納事務規程第十五條規定ノ領收證書ヲ徴シ之レヲ中央金庫へ送付スヘシ
第十一條 第九條ノ振換拂渡方至急ヲ要スルトキハ中央金庫ヨリ電信ヲ以
テ其旨ヲ本金庫へ通達スヘシ（本文ノ場合ハ仕拂命令ヨリ受取人）但本文
ノ場合ト雖トモ中央金庫ニ於テ甲乙號振換拂證書へ電信ニテ渡濟ノ旨ヲ

記入シ第九條第一項ノ順序ヲナスヘシ

第十二條 第十一條ノ電信ヲ受ケタル本金庫ハ正當受取人ヨリ仕拂命令官ノ發シタル電信ヲ差出サシメ該電信ト中央金庫ヨリ發シタル電信ノ金額氏名トヲ對照シ正確ナリト認ムルトキハ受取人ヨリ假領收證書ヲ徴シテ現金ヲ交付シ追テ受取人ヨリ甲號振換拂證書ヲ得テ假領收證書ヲ返戻スヘシ
前項電信ニ對シ仕拂ヲ爲シタルトキハ卽刻其旨ヲ中央金庫ヘ電報スヘシ

第二款 郵便爲替過超金振換納

第十三條 各地本金庫ハ郵便電信局又ハ郵便局ヨリ現金ニ第三號書式ノ振換納申込書ヲ添ヘ中央金庫ヘ振換納ノ申込アルトキハ之レヲ領收シ第四號書式ノ振換受入證書ヲ調製シ其甲號ハ振換納申込先キヘ交付シ其乙號ハ中央金庫ヘ送付スヘシ

第十四條 各地本金庫ニ於テ第十三條ノ順序ニ據リ領收セシ現金ハ中央金庫ヨリ受入金トナスヘシ但本文ノ場合ニ於テハ回送及振換拂報告表ヘ其事由ヲ記入スヘシ（本表ハ中央金庫ノ記帳對照ニ用ユルモノニテ中央金庫ハ之レヲ以テ記帳ノ材料ト爲スモノニアラス）

第十五條 中央金庫ニ於テ各地本金庫ヨリ送付スル乙號振換受入證書ヲ得タルトキハ其金額ヲ郵便爲替振換金受入トシテ記入シ（即貸方科目）各地本金庫ヘ回送ノ記帳（即借方科目）ヲナスヘシ追テ遞信省爲替貯金局長ヨリ甲號振換受入證書ヲ以テ現金引替方請求アルトキハ乙號振換受入證書ニ對照シ正確ナリト認ムルトキハ甲號振換受入證書ト引替ニ現金ヲ交付スヘシ但本文郵便爲替振換金受入ノ内譯ハ書留簿ヲ設ケ（書式整理スヘシ）適宜整理スヘシ
前項現金ヲ交付セシトキ郵便爲替振換金受入ヲ決算スヘシ

第十六條 中央金庫ニ於テ第十五條ノ各地本金庫ヨリ送付スル乙號振換受

入證書ヲ受ケ振換金受入ノ記帳ヲ爲セシトキ及甲號振換受入證書ト引替ニ現金ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ回送及振換金受拂報告表ヘ式ノ如ク記載スヘシ但該報告表摘要ヘ其事由ヲ詳細記載スヘシ

第十七條 中央金庫ニ於テ第十九條ノ各地本金庫ヨリ電信ヲ得テ受入ノ記帳ヲ爲シ及仕拂ヲナシタルトキハ第十六條ノ順序ニ據リ回送及振換金受拂報告表ヘ式ノ如ク記載スヘシ但該報告表摘要ヘ其事由ヲ詳細記載スヘシ
第十八條 各地本金庫ニ於テ郵便電信局又ハ郵便局ヨリ第十三條ニ據リ受入タル金額ニ限り其代リ金ヲ電信ヲ以テ中央金庫ニ於テ仕拂ヲ受ケタキ旨ノ請求アルトキハ振換納金受入レ先キノ局名金額振換受入證書ノ番號年月日トモ中央金庫ヘ電報スヘシ
前項電報ヲ爲シタルモノト雖トモ甲乙號振換受入證書ヲ製シ之レニ電信

ニテ渡濟ノ旨ヲ記入シ其甲號ハ振換納申込先キヘ交付シ其乙號ハ中央金庫ヘ送付スヘシ

第十九條 中央金庫ニ於テ第十八條ノ電信ヲ得タルトキハ該電信ヲ以テ乙號振換受入證書ト見做シ遞信省爲替貯金局長ノ領收證書ニ對シ現金ヲ交付スヘシ

第二十條 各地本金庫ハ第十八條ニ據リ電信ヲ發シタルトキハ第十四條ノ順序ヲ爲スヘシ

第二十一條 中央金庫ハ第十九條ノ電信ヲ得タルトキ及現金ヲ仕拂ヒタルトキハ第十五條ノ順序ヲナスヘシ

第二十二條 中央金庫ニ於テ第十九條ニ據リ電信ヲ以テ現金ヲ仕拂フタル遞信省爲替貯金局長ノ領收證書ハ追テ同局長ヨリ送付スル甲號振換受入

證書ト交換スヘシ

第三款 海軍艦隊返納金振換納

第二十三條 各港ニアル本金庫ニ於テハ海軍艦隊某官某ヨリ現金ニ第五號書式ノ振換納申込書ヲ添ヘ鎮守府所在地ノ金庫ヘ振換納ノ申込アルトキハ之レヲ領收シ第六號書式ノ振替受入證書ヲ調製シ其甲號ハ振替納申込先キヘ交付シ其乙號ハ鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所鎮守府所在地ニアル支金庫又ハ本金庫派出所鎮守府所在地ニアルヲ總轄スル本金庫ヘ送付ス該本金庫ハ之レヲ其支金庫若クハ金庫派出所ヘ轉送スヘシ

第二十四條 各港ニアル支金庫ニ於テハ艦隊某官某ヨリ現金ニ振換納申込書ヲ添ヘ鎮守府所在地ノ金庫ヘ振換納ノ申込アルトキハ之ヲ領收シ支金庫ニ於テ本文ノ受入金ハ其總轄スル處ノ本金庫ヨリノ回送金受第二十三條ノ入トシテ其事由ヲ明細記帳シ之レヲ其本金庫ヘ報告スヘシ

順序ニ據リ振換受入證書ヲ調製シ其甲號ハ振換納申込先キヘ交付シ其乙號ハ當該支金庫ヲ總轄スル本金庫ヘ送付ス該本金庫ハ之レヲ鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所ヲ總轄スル各本金庫ヘ送付ス該本金庫ハ之レヲ鎮守府所在地ノ支金庫若クハ金庫派出所ヘ轉送スヘシ

第二十五條 各港ニアル本金庫ニ於テ第二十三條ニヨリ領收セシ振換納金ハ其本金庫ニ於テ又各港ニアル支金庫ニ於テ第二十四條ニヨリ領收セシ振換納金ハ該支金庫ヲ總轄スル本金庫ニ於テ第二十四條各港ニアル支金庫ニ屬シ本支金庫共ニ振換納金ヲ領收鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所ヲ總轄スル本金庫ヨリノ回送金受入トナスヘシ但シ本文ノ場合ニ於テハ回送及振換拂報告表ヘ記載シ其摘要ヘ其事由ヲ記入スヘシ前項ノ領收セシ金額ハ特ニ第七號書式ノ通知書ヲ製シ其時々中央金庫ヘ

送付スヘシ

第二十六條 各鎮守府所在地ノ支金庫若クハ金庫派出所ニ於テ第二十三條第二十四條ニ據リ其本金庫ヨリ乙號振換受入證書ヲ得タルトキハ該本金庫へ回送金トシテ一旦現金ヲ拂出シ更ニ該現金ヲ某艦團隊某官某ヨリ振換受入金トシテ記帳（雜部中ニ受入金ノ科目ヲ設ク）計算シ雜部金收支内譯表へ記載シ其摘要へ其事由ヲ記入シ之レヲ其本金庫へ報告スヘシ

前項振換受入金受拂ノ月計對照表ハ明治二十二年^{十二}月^{十二}大藏省訓令第七十二號第九十七條ニ據リ調製シ之レヲ該金庫所在地鎮守府在勤ノ會計主務官へ送付スヘシ（本文振換受入金ノ整理ハ月計對照表ヲ鎮守府在勤ノ會計主務官へ送付スルノ外ハ總テ金庫出納事務規程中雜部金ノ取扱ニ異ナルコトナシ）

各本金庫ニ於テ第一項ノ報告ヲ得タルトキハ其金額ヲ振換受入證書發行

先キノ金庫へ回送金トシテ支金庫ノ在高ヲ拂出シ（借方）更ニ之レヲ某艦團隊某官某ヨリ支金庫へ振換受入金トシテ記帳（雜部中ニ受入金ノ科目ヲ設ク）計算シ振換受入證書發行先キノ金庫へ回送トシテ拂出ノ分ハ回送及振換拂報告表へ記載シ其摘要へ其事由ヲ記入スヘシ某艦團隊某官某ヨリノ受入金ハ雜部金毎月計算表へ記入スヘシ

第二十七條 鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所ニ於テハ某艦團隊某官某或ハ其代理人ヨリ第二十三條第二十四條ノ甲號振換受入證書ニ返納告知書ヲ添へ納付スルトキハ乙號振換受入證書ト對照シ正確ト認ムルトキハ振換受入金ノ科目ヲ決算シ（貸方現金借方返納金領收入借方現金ノ記帳ヲナシ雜部金收支内譯表へ記載シ其摘要へ其事由ヲ記入スヘシ）各本金庫ニ於テ前項ノ雜部金收支内譯表ヲ得タルトキハ第二十六條第三

項其艦團隊某官某ヨリ振換受入金ヲ決算シ返納金受入ノ記帳ヲナシ(木場)

合ニ於テ原簿上貸借共雜部ノ科目ヲ用テ雜部金毎月計算表ヘ記入スヘシ

第二十八條 第二十六條第三項ノ順序ヲナシタル本金庫ハ特ニ第八號書式ノ報告書ヲ調製シ其時々中央金庫ヘ送付スヘシ

第二十九條 中央金庫ハ特ニ書留簿ヲ設置シ第二十五條第二項第二十八條ノ特別報告ヲ記入シ追テ第二十五條第一項第二十六條第三項第二十七條

第二項ノ諸報告ヲ得テ之レカ整理ヲナスヘシ

第一號書式 用紙適宜

縦四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚

内及印章ハ孰モ朱

第 何 號	發 送 先	中 央 金 庫	又 何 地 本 金 庫
回送金領收證書原符			
一金「何程」			
明治何年何月何日			

取換主
任之印

項其艦團隊某官某ヨリ振換受入金ヲ決算シ返納金受入ノ記帳ヲナシ(木場)

合ニ於テ原簿上貸借共雜部ノ科目ヲ用テ雜部金毎月計算表ヘ記入スヘシ

第二十八條 第二十六條第三項ノ順序ヲナシタル本金庫ハ特ニ第八號書式ノ報告書ヲ調製シ其時々中央金庫ヘ送付スヘシ

第二十九條 中央金庫ハ特ニ書留簿ヲ設置シ第二十五條第二項第二十八條ノ特別報告ヲ記入シ追テ第二十五條第一項第二十六條第三項第二十七條

第二項ノ諸報告ヲ得テ之レカ整理ヲナスヘシ

第一號書式 用紙適宜

縦四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚

内及印章ハ孰モ朱

第 何 號	發 送 先	中 央 金 庫	又 何 地 本 金 庫
回送金領收證書			
一金「何程」			
右回送金正ニ領收候也			
明治何年何月何日			
何々金庫			
印			

取換主
任之印

振換排證書原符

一金「何程」

取換主
任之印

明治何年何月何日

金庫相互間回送金振換金取扱順序

振 換 拂 證 書

印	金庫		甲第	「何」	號	先渡	「何」		取扱主 任ノ印
振換拂證書									
一金「何程」									
<small>電信ニテ渡済</small> 右ニ書載之金額此證書引換ニ可被相渡候也 明治「何」年「何」月「何」日 「何地」本金庫 <small>追テ本文金額ハ何地何某又ハ何地何應何某ハ遞送方御取計可有之候也</small>									
中央金庫 印									
<small>取扱主 任ノ印</small>									
乙第 「何」 號 先渡 「何」 基									
振換拂證書									
一金「何程」									
<small>取扱主 任ノ印</small>									

書

電信ニテ渡済

右送金振換拂證書本日振出候ニ付甲號振換拂證書引換ニ中央金庫へ送金トシテ現金可被相渡候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何地」本金庫

中央金庫 印

「追テ本文金額ハ何地何某又ハ何地何應何某ハ遞送方御取計可有之候也」

「備考」金庫所在地外へ遞送セシムルトキハ甲乙號證書へ追記スルモノトス

「第三號書式」用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分

第「何」號

振換納申込書

一金「何程」

右金額納付ニ付代金中央金庫ニテ振換渡方有之度候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何地」本金庫「宛」

郵便電信局長(郵便局長)
氏 名 印

金庫相互間回送金振換金取扱順序

「第四號書式」用紙適宜 縦四寸五分ノモノ二枚 横四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚 横二寸

第 何 號 振 込 先 何地郵便電信局(何地郵便局)

振換受入證書原符

一金何程



電信ニテ渡済

明治何年何月何日振換證書發行

本金庫

刻印

甲 第何 號 振 込 先 何地郵便電信局(何地郵便局)

振換受入證書

一金何程



電信ニテ渡済

右金額本金庫へ正ニ受取中央金庫ヨリノ受入ニ相立候ニ付代リ金此證書引

受

換ニ遞信省爲換貯金局へ渡方御取計有之度候也

明治何年何月何日

中央金庫

何地本金庫

印

本金庫

刻印

乙 第何 號 振 込 先 何地郵便電信局(何地郵便局)

振換受入證書

一金何程



電信ニテ渡済

右之金額正ニ受取中央金庫ヨリ受入ニ相立即振換證書本日發行セリ此段報告ス

明治何年何月何日

中央金庫

何地本金庫

印

入 證 書

金庫相互間回送金振換金取扱順序

第五號書式「川紙適宜」
縦四寸五分
横三寸三分

第「何」號

振換納申込書

一金「何程」

右金額納付ニ付代リ金「何地」本金庫ニテ振換渡方有之度候也

明治「何」年「何」月「何」日

「海軍艦隊現金前渡ヲ受ケタル官吏」

「氏」名

印

「何地」本金庫

第六號書式「川紙適宜」

縦四寸五分ノモノニ枚
横三寸三分ノモノニ枚
縦四寸五分ノモノニ枚
横二寸

第「何」號

振換先

「海軍艦隊現金前渡ヲ受ケタル官吏官氏名」

振換受入證書原符

一金「何程」



「信」ニテ渡濟

明治「何」年「何」月「何」日振換證書發行

振

換

受

本金庫
削印

甲 第「何」號 振 込

先 「海軍艦隊現金前渡ヲ受ケタル官吏官氏名」

振換受入證書

一金「何程」



「信」ニテ渡濟

右金額本金庫正ニ受取「何地」本金庫ヨリノ受入ニ相立候ニ付代リ金此證書引換ニ某鎮守府何官何某へ渡方御取計有之度候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何地」本金庫

印

「何地」支金庫

印

「何地」本金庫

「何地」支金庫

本金庫
削印

金庫相互間回送金振換金取扱順序

乙 第 何 號 振 込 先 海軍艦隊現金前渡ヲ受ケタル 官吏官氏名

振換受入證書

一金何程



電信ニテ渡済

右之金額正ニ受取「何地」本金庫ヨリ受入ニ相立即振換證書本日發行セリ此段 報告ス

明治何年何月何日

「何地」本金庫

「何地」支金庫

「何地」本金庫 印

「何地」支金庫 印

第七號書式

振換納金領收濟報告書

何年何月何日

一金何程

某艦隊某官某

但「何地」本金庫又ハ「何地」支金庫ニ於テ現金領收シ乙第何號振換受入證書發行ス 右ハ「何地」本金庫ヨリ回送受入トシテ領收濟ニ付此段及報告候也

何年何月何日

中央金庫

「何地」本金庫 印

第八號書式

乙號振換受入證書雜部へ振換濟報告書

「何地」本金庫(又ハ「何地」本金庫何地支金庫若)乙第何號振換受入證書

一金何程

某艦隊某官某

右ハ何年何月何日「何地」本金庫へ回送トシテ拂出ノ上雜部へ振換受入濟ニ付此段及報告候也

何年何月何日

中央金庫

「何地」本金庫 印

大藏省訓令第十六號

金庫出納役

明治二十三年一 大藏省令第二號出納官吏身元保證金取扱規則ニ據リ出納官吏ヨリ身元保證金ノ代用トシテ記名公債證書ヲ金庫へ保管預ケ入レノ請求ヲナスモノアルトキハ各金庫ニ於テ左ノ順序ニ據リ之レヲ保管預リニナスヘシ

出納官吏身元保證ノ公債證書預リ順序

明治二十三年二月二十六日

大藏大臣 伯爵松方正義

第一條 出納官吏ヨリ身元保證金代用ノ爲メ金庫ヘ記名公債證書ヲ保管預
 ケヲナストキ(預ケ入ヘキ公債證書ノ種類番記號書ヲ)金庫ハ之レヲ領收記
 帳シ第一號書式ノ保管證書ヲ調製シ其甲號ハ公債證書ヲ預ケ入レタル出
 納官吏ヘ交付シ其乙號證書ハ第二條ノ順序ニ據リ大藏省ヘ送付スヘシ

第二條 中央金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ直ニ之レヲ大
 藏省ヘ差出スヘシ

中央金庫ニ屬スル支金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ之レ
 ヲ中央金庫ヘ送付シ中央金庫ハ之レヲ記帳シ該證書ヘ式ノ如ク捺印シテ
 之レヲ大藏省ヘ差出スヘシ

各本金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ之レヲ中央金庫ヘ送

付シ中央金庫ハ之レヲ記帳シ該證書ヘ式ノ如ク捺印シテ之レヲ大藏省ヘ
 差出スヘシ

各本金庫ニ屬スル支金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ之レ
 ヲ本屬ノ本金庫ヘ送付シ其本金庫ハ之レヲ記帳シ式ノ如ク捺印シ中央金
 庫ヘ送付スヘシ中央金庫ハ之レヲ記帳シ式ノ如ク捺印シテ大藏省ヘ差出
 スヘシ

第三條 第一條ニ據リ各金庫ヘ保管預リニセシ公債證書ノ利札ハ其利子渡
 期限ニ於テ出納官吏ノ請求アルトキハ各金庫ニ於テ之レヲ裁斷シ出納官
 吏ニ交付シ第二號書式ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第四條 各金庫ニ於テ保管預リニセシ公債證書ヲ拂戻ストキハ乙號保管證
 書ニ裏書ヲナシ之レヲ大藏省ヨリ金庫ヘ返付ス但本金庫又ハ支金庫ヨリ

發シタル保管證書ハ中央金庫本金庫ヲ經テ之レヲ返付スヘシ
前項ニ據リ大藏省ヨリ返付セラレタル乙號保管證書ト拂戻シヲ受クヘキ
出納官吏ヨリ差出ス處ノ甲號保管證書ト對照ノ上公債證書ヲ返付スヘ
シ

第五條 各金庫ニ於テハ公債證書保管預リ書留簿適宜^{書式}ヲ設ケ其受拂ヲ記入
スヘシ

第一號書式

用紙適宜^{縦四寸五分ノモノニ一枚横四寸五分ノモノニ一枚横三寸八分ノモノニ一枚}

内及印章ハ孰モ朱

第

何

號

出納官吏身元
保管證書

某廳出納官吏官氏名

原

一七歩利付公債證書額面何程	〇
一六歩利付公債證書額面何程	〇
一五歩利付公債證書額面何程	〇
一何々	
一何々	
一何々	

符

明治何年何月何日	
----------	--

金庫
御印

甲第

何

號

出納官吏身元保管證書

保

一七歩利付公債證書額面何程	〇
一六歩利付公債證書額面何程	〇
一五歩利付公債證書額面何程	〇
一何々	
一何々	
一何々	

出納官吏身元保證ノ公債證書預リ順序

管

右ハ身元保證金代用ノ爲メ正ニ預リ保管候也

中央金庫 印

若クハ 何地本金庫 印

中央金庫又ハ何地本金庫 何地支金庫 印

某廳出納官吏官氏名宛

金庫 割印

乙 第 何 號 出納官吏身元 保證保管證書 某廳出納官吏官氏名

一七歩利付公債證書額面何程 印

一六歩利付公債證書額面何程 印

一五歩利付公債證書額面何程 印

一何々

一何々

一何々

證

書

右ハ身元保證金代用ノ爲メ正ニ預リ保管致シ候也

中央金庫 印

若クハ 何地本金庫 印

中央金庫又ハ何地本金庫 何地支金庫 印

大藏大臣宛

中央金庫記帳簿之印 印

本金庫記帳簿之印 印

中央金庫ノ所屬支金庫及本金庫若クハ本金庫ニ屬スル支金庫分ヲ本金庫ヨリ差出シタル分ハ中央金庫ニテ記帳捺印ス 支金庫ヨリ差出シタル分ハ本金庫ニテ記帳捺印ス

乙號保管證書裏面

表面ノ公債證書ハ返却ス

明治何年何月何日

大藏大臣 印

出納官吏身元保證ノ公債證書捺リ順序

「第二號書式」

領收證

明治何年何月何日渡り

一七歩利付公債證書面何程

但利札面何程

何何枚枚

一六歩利付公債證書面何程

但利札面何程

何何枚枚

一五歩利付公債證書面何程

但利札面何程

何何枚枚

同

但利札面何程

何何枚枚

右者拙者身元保證金代用ノ爲メ保管預ケセシ公債證書ノ利札書面之通り正ニ領收候也
某騰出納官吏官氏名 印

明治何年何月何日

中央金庫

若クハ何地本金庫宛

中央金庫又ハ何地本金庫

何地支金庫

會計主務官

大藏省訓令第十八號

會計主務官心得左ノ通り定ム

明治二十三年二月二十七日

大藏大臣 伯爵松方正義

會計主務官心得

第一章 總則

第一條 會計主務官ハ國庫ノ事務ヲ取扱フ官吏ニシテ大藏大臣ノ命ヲ承ケ

會計法第十四條ニ依リ仕拂命令ノ法律命令ニ反スルコトナキヤヲ調定ス

ルヲ以テ職務トス

會計主務官ハ專ラ仕拂命令ノ調定ヲ職務トスルモノニシテ明治十四年太

政官第三十六號達ヲ以テ定メラレタル會計主務官吏トハ異ナルモノト

ス

第二條 會計主務官ハ各省大臣所屬ノ官吏タリト雖トモ其職務執行ニ就テハ各省大臣ニ對シ全ク獨立シ其干涉ヲ受クルコトナシ

第三條 會計主務官ハ會計法會計規則其他ノ命令ニ依リ付與セラレタル權限ヲ確守シ仕拂命令官ノ權限ヲ犯スコトナク事務ノ滯留ヲ生セサル様注意スヘシ

第四條 會計主務官ノ職務ハ會計法第二十九條ニ依リ仕拂命令官ト相兼ヌルコトヲ得ス然レトモ會計主務官ノ職務ヲ執ル官吏ニシテ同時ニ各省會計ノ事務ニ從事スルモ妨ケナシ

第五條 會計規則第五十條ノ中央會計主務官ノ職務ハ各省本廳ノ經費ニ關スル仕拂命令ヲ調定スル會計主務官ニ於テ取扱フモノトス

第二章 帳簿

第六條 會計主務官ハ會計規則第一百十六條ニ依リ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式ノ支出簿ヲ備フヘシ

本條ノ帳簿ハ會計主務官ノ爲メニ最モ大切ナルモノニシテ仕拂命令ノ調定支出ノ報告支出ノ證明ヲナスハ皆此帳簿ニ依ルモノトス

第七條 各省中央會計主務官ハ支出簿ノ外ニ會計規則第一百七條ニ依リ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十七號書式ノ歳出簿ヲ備フヘシ

本條ノ帳簿ハ會計規則第一百三條ニ依リ大藏省主計局ニ備フル所ノ主計簿歳出ノ部ト連絡ヲ有スルモノトス

第八條 支出簿ニハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書

式備考第二ニ示ス如ク第一ニ大藏大臣ヨリ令達アリタル仕拂豫算額ヲ登記スヘシ

此仕拂豫算額ノ令達ハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第一號書式備考第二ニ示ス如ク會計規則第十一條第十二條ニ依リ各省大臣ヨリ大藏大臣ニ送付シタル計算書ニ通ノ内一通ヲ大藏大臣ヨリ會計主務官ニ送付スルノ手續トス

仕拂豫算額ノ増減ハ前項ノ手續ニ依リ大藏大臣ヨリ令達アルヘキニ付其令達ヲ得タルトキ登記スヘシ

會計規則第三十五條ニ依リ仕拂命令官ヨリ仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調定シ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式備考第三ニ示ス如ク支出簿仕拂命令調定濟額ノ欄内ニ登記スヘシ

會計規則第六十三條ニ依リ大藏大臣ニ於テ定額ノ戻入ヲ檢視シタルトキハ戻入取扱規程ハ明治二十二年大藏省令第十六號ニ依ル明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十一號書式ニ準シ定額戻入令達書ヲ作り之ヲ會計主務官ニ送付スヘキニ付會計主務官ハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式備考第四ニ示ス如ク支出簿仕拂命令調定濟額ノ欄内ニ定額戻入ノ金額ヲ登記スヘシ

第九條 明治二十二年勅令第九十五號會計年度開始前現金支出規則ニ依リ大藏大臣ニ於テ年度開始前支出ヲ檢視シタルトキハ其令達書ヲ作り之ヲ會計主務官ニ送付スヘキニ付會計主務官ハ令達書ノ金額ヲ支出簿開始セ分ノ仕拂豫算額ノ欄内ニ登記シ追テ仕拂命令官ヨリ仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキ大藏大臣令達ノ金額ニ照シテ調定シ其調定濟額ヲ支出簿ニ登

記スヘシ

第十條 支出簿ノ詳細ヲ明カニスル爲メ要スル所ノ補助簿ハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式備考第五ニ示ス如ク會計主務官ニ於テ適宜之ヲ設クヘキモノトス今左ニ凡ソ必用ナル補助簿ノ種類ヲ示ス

一 概算渡前金渡繰替拂ノ帳簿 此帳簿ニハ法律勅令ニ依リ概算渡前金渡繰替拂ヲ許サレタル經費ノ支出ヲ登記シ其精算未精算ヲ調査スルノ用ニ供スルモノトス

二 歳出目別ノ帳簿 此帳簿ハ各項中各目ヲ區分シ經費ノ支出ヲ登記スルモノトス

右ノ外明治二十二年十一月會計検査院ノ定メタル支出證明規程ニ依リ會計主務官ノ證明スヘキ諸計算ヲ作ルニ必要ナル帳簿

第十一條 中央會計主務官ノ備フル歳出簿ニハ歳計豫算ニ依リ各省所管經費各款各項ノ定額ヲ歳出簿定額ノ欄内ニ登記スヘシ

會計規則第五十七條ニ依リ大藏大臣ニ於テ繰越ヲ承認シタルトキハ繰越ノ令達書ヲ作り中央會計主務官ニ送付スヘキニ付中央會計主務官ハ其繰越金額ヲ歳出簿增加額ノ欄内ニ登記スヘシ

會計規則第二十二條ニ依リ第二豫備金支出ノ勅裁アリタルトキ及同規則第十九條ニ依リ大藏大臣ニ於テ第一豫備金支出ヲ承認シタルトキハ其令達書ヲ中央會計主務官ニ送付スヘキニ付中央會計主務官ハ其金額ヲ歳出簿增加額ノ欄内ニ登記スヘシ

歳出簿仕拂命令調定濟額ノ欄内ニハ中央會計主務官自身ノ作りタル支出報告書及ヒ他ノ會計主務官ヨリ送付ヲ受ケタル支出報告書ニ據リ其報告

書仕拂命令調定濟額ノ欄内本月分ノ仕拂命令調定濟金額及ヒ定額戻入金額ヲ登記スヘシ

第三章 仕拂命令調定

第十二條 仕拂命令ニハ三種アリ即チ左ノ如シ

第一 通常ノ仕拂命令

第二 集合仕拂命令

第三 現金前渡仕拂命令

(第一) 通常ノ仕拂命令ハ一箇ノ債主ニ直接ニ現金ヲ交付スル爲ニ發スルモノトス

(第二) 集合仕拂命令ハ二人以上ノ債主ニ直接ニ現金ヲ交付スル爲ニ發スルモノトス

(第三) 現金前渡仕拂命令ハ會計法第十五條第二項ニ依リ官吏又ハ政府ノ命シタル銀行會計規則第四十二條ヲ見ヨニ現金ヲ交付シ更ニ右官吏又ハ銀行ヲシテ政府ノ債主ニ仕拂ヲ爲サシムルタメニ發スルモノトス

第十三條 仕拂命令ノ様式ハ明治二十二年大藏省令第十一號ヲ以テ定メタル第六號書式甲乙丙ノ三種ニシテ各々輪廓ノ模様ヲ異ニセリ

第十四條 會計規則第三十五條ニ依リ仕拂命令官ヨリ仕拂命令ニ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ會計主務官ニ送付シタルトキハ先ツ何年度所屬ニシテ何種ノ仕拂命令ナルヤヲ見定メ左ノ順序ニ從ヒ調定ヲ爲スヘシ

第一 仕拂命令ノ様式ニ違フコトナキヤヲ調査スルコト

第二 仕拂命令ト案内仕拂命令トヲ照合シ年度科目金額其他記載ノ事項相違スル所ナキヤヲ調査スルコト

第三 支出簿仕拂豫算ノ残額ト仕拂命令ノ金額トヲ照合シ仕拂豫算ニ超過スルコトナキヤヲ調査スルコト

第四 仕拂命令ト仕拂命令ニ添付セル證憑書類トヲ照合シ仕拂命令ニ依リ仕拂フヘキ經費ハ正當ニシテ仕拂ノ方法規則ニ違フコトナキヤ年度科目計算ニ誤ナキヤ其他法律命令ニ抵觸スルコトナキヤヲ調査スルコト

第十五條 前條第一第二ノ調査ヲナシ不都合ヲ發見スルトキハ直チニ仕拂命令ヲ仕拂命令官ニ返付シ改正ヲ求ムヘシ
前條第三ノ調査ヲナシ不都合ヲ發見スルトキハ直チニ仕拂命令ヲ仕拂命令官ニ返付シ改正ヲ求メ若シ仕拂命令官改正ヲ承諾セサルトキハ事由ヲ本屬大臣ニ申立ヘシ而シテ本屬大臣會計主務官ノ意見ニ同意セサルトキ

ハ會計主務官會計規則第三十七條第二項但書ニ依リ事由ヲ具シ大藏大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

前條第四ノ調査ヲナシ不都合ヲ發見スルトキハ直チニ仕拂命令ヲ仕拂命令官ニ返付シ改正ヲ求メ若シ仕拂命令官改正ヲ承諾セサルトキハ事由ヲ本屬大臣ニ申立ヘシ而シテ本屬大臣會計主務官ノ意見ニ同意セサルトキハ會計主務官會計規則第三十七條第二項ニ依リ特命調定ヲナシ直チニ事由ヲ詳具シ大藏大臣ニ報告スヘシ

第十六條 本訓令第十四條第四ノ調査ヲナストキ通常ノ仕拂命令ハ左ノ順序ニ依ルヘシ

第一 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費ハ債主權ノ確定シタルモノナルヤ否ヤヲ調査シ若シ債主權ノ未確定ノモノナルトキハ何レノ法

律勅令ニ依リ概算渡前金拂ヲナスヤヲ確カムヘシ

第二 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費繰替拂ナルトキハ何レノ法律勅令ニ依リ繰替拂ヲナスヤヲ確カムヘシ

第三 各年度ニ屬スル經費ニシテ會計規則第四十四條ニ依リ翌年度四月一日以後六月三十日マテニ發シタル仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ其仕拂命令ニ依リ仕拂フ經費ハ年度内ニ債主權ノ確定シタルモノニ相違ナキヤヲ確カムヘシ

第四 過年度ノ支出ニ係ル仕拂命令ナルトキハ會計規則第六十條ニ依リ大藏大臣承認ヲシタルトキ其令達書ヲ會計主務官ニ送付スヘキニ付之ニ照合スヘシ

第五 仕拂命令ニ記入シタル年度ノ相當ナルヤヲ會計規則第二條ニ照

シ調査スヘシ

第六 仕拂命令ニ記入シタル科目ノ相當ナルヤヲ仕拂豫算ノ科目ト證憑書トニ照シ調査スヘシ

第七 仕拂命令ニ記入シタル金額ノ違算ナキヤヲ確カムル爲メ證憑書ニ照シ計算スヘシ

第八 正當ニ政府ノ經費ナルヤヲ證憑書ニ照シ調査スヘシ

第九 政府ノ工事及物件買入借入ニ係ル經費ノ仕拂命令ナルトキハ競争契約ナルヤ隨意契約ナルヤヲ證憑書ニ照シ調査シ隨意契約ナルトキハ會計法第二十四條但書何レノ場合ニ該當セルヤヲ證憑書ニ照シ確カムヘシ

第十 會計規則第六十七條ニ依リ工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分

ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスル仕拂命令ナルトキハ
會計規則第六十七條ノ制限ヲ超過スルコトナキヤヲ證憑書ニ照シ確
カムヘシ

第十七條 本訓令第十四條第四ノ調査ヲ爲ストキ集合仕拂命令ハ左ノ順序
ニ依ル

第一 會計規則第三十三條但書六種費目中何レニ該當スルヤヲ確カム
ヘシ

第二 金額氏名表ノ金額ト仕拂命令ノ金額ト相違ナキヤヲ確カムヘシ

第三 仕拂命令ニ記入シタル年度ノ相當ナルヤヲ會計規則第二條ニ照
シ確カムヘシ

第四 仕拂命令ニ記入シタル科目ノ相當ナルヤヲ仕拂豫算科目ト證憑

書トニ照シ確カムヘシ

第五 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費ハ債主權ノ確定シタルモノ
ナルヤ否ヤヲ調査シ若シ債主權未確定ノモノナルトキハ何レノ法律
勅令ニ依リ概算渡前金拂ヲナスヤヲ確カムヘシ

第六 金額氏名表ノ金額氏名ニ相違ナキヤヲ證憑書ニ照シ確カムヘシ
金額ハ計算ニ付
シ確カムヘシ

第七 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費ハ正當ニ政府ノ經費ナルヤ
ヲ證憑書ニ照シ確カムヘシ

第十八條 本訓令第十四條第四ノ調査ヲ爲ストキ現金前渡仕拂命令ハ左ノ
順序ニ依ル

第一 會計法第十五條第二項何レノ場合ニ該當スルヤヲ確カムヘシ

第二 政府ノ命シタル銀行ニ現金ヲ交付セントスル仕拂命令ナルトキハ會計規則第四十二條ノ範圍内ナルヤヲ確カムヘシ

第三 會計規則第三十九條ノ各項ニ照シ仕拂命令ノ金額同條ニ定メタル制限ニ超過スルコトナキヤ又必用ナルヨリモ餘分ノ現金前渡ナルコトナキヤヲ確カムヘシ

第四 一度現金ヲ前渡シタル主任官吏ニ更ニ現金ヲ前渡セントスル仕拂命令ハ會計規則第四十條ニ照シ同條ニ定メタル制限ニ超過スルコトナキヤヲ確カムヘシ

第五 仕拂命令ニ記入シタル年度ノ相當ナルヤヲ會計規則第二條ニ照シ確カムヘシ

第六 仕拂命令ニ記入シタル科目ノ相當ナルヤヲ仕拂豫算ノ科目ト證

憑書トニ照シ確カムヘシ

第十九條 仕拂命令ノ調査ヲナスニ必要ナル證憑書ハ會計規則第三十五條ニ依リ仕拂命令官ヨリ會計主務官ニ送付スヘキ義務アルモノニ付若シ證憑書不完全ナルトキハ會計主務官ハ仕拂命令官ニ向テ事實ヲ確カムルニ充分ナル證憑書ヲ送付センコトヲ要求スヘシ

第二十條 本訓令第十六條第十七條ノ調査ヲ爲スニ必要ナル證憑書ノ種類ハ凡ソ左ノ如シ

- 第一 債主ノ請求書若クハ請求書ニ代ハルヘキ書類
- 第二 規則又ハ契約ニ依リ一定シタル經費ニシテ債主ノ請求書ヲ徴セスシテ仕拂命令ヲ發スルモノハ規則書又ハ契約書及ヒ負債ヲ確カメ得ヘキ書類

第三 一項中數目ヲ合セタル仕拂命令ニシテ各目ノ金額分明ナラサルモノハ各目ノ仕譯書

第四 工事及物件ノ購買借入ニ關スル仕拂命令ハ其各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類

第五 會計規則第六十七條ニ依リ工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスル仕拂命令ナルトキハ同條ニ依リ検査ノ官吏ノ作りタル調書

第六 明治二十二年十一月會計検査院ニ於テ定メタル支出證明規程第十一條第十二條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條ノ事項ヲ調査スルニ必要ナル書類

第二十一條 本訓令第十八條ノ調査ヲ爲スニ必要ナル證憑書ノ種類ハ凡ソ

左ノ如シ

第一 會計法第十五條第二項ノ第一ニ當ル場合ハ國債元利ノ計算ヲ明ニセル書類

第二 會計法第十五條第二項ノ第二第三第四第五第六第七第八ニ當ル場合ハ經費支出ノ必要ヲ確カムヘキ書類

第二十二條 仕拂命令ノ調定ヲ了リ會計主務官之ヲ正當ト認メタルトキ若クハ會計規則第三十七條第二項ニ依リ特命調定ヲ爲シタルトキハ式ノ如ク支出簿ニ登記シ然ル後チ仕拂命令ト案内仕拂命令トヲ切離シ受取人ヨリ領收證書ヲ徴シ仕拂命令ヲ受取人ニ交付シ同時ニ案内仕拂命令ヲ金庫ニ送付スヘシ

支出簿ニ登記セサル前ニ仕拂命令ヲ受取人ニ交付シ若クハ仕拂命令ヲ受

取人ニ交付セサル前ニ案内仕拂命令ヲ金庫ニ送付スルトキハ行違ヲ生シ
易キヲ以テ必ス前項ノ手續ヲ怠ルヘカラス

毎月末日受取人ニ交付スル仕拂命令ノ案内仕拂命令ハ其日ノ開庫時間内
ニ金庫ニ到着スル様發送スヘシ若シ案内仕拂命令ノ送付方遅延シ金庫ニ
於テ之ヲ翌月ノ計算ニ組込トキハ月計對照表上差違ヲ生スヘキニ付必ス
本項ノ注意ヲ怠ルヘカラス

第二十三條 會計規則第三十三條但書及第三十六條但書ニ依リ集合仕拂命
令ヲ以テ債主ニ仕拂ヲナストキ又ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫即チ仕拂命
令官所在地
ノ金所在地ノ外ニ於テ仕拂ヲ爲スタメ送金ヲ要スルトキハ式ノ如ク支出
簿ニ登記シ集合仕拂命令ハ其本命令案内仕拂命令及金額氏名表共又通常
ノ仕拂命令ハ其本命令及案内仕拂命令共之ヲ金庫ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ會計主務官ハ本訓令附屬書式ノ領收證書用紙ニ式ノ如ク
記入捺印シ之ヲ受取人ニ交付シ金庫ハ明治二十二年大藏省訓令第七十二
號金庫出納事務規程第十五條第十六條ニ依リ本項ノ領收證書ト引替ニ現
金ヲ受取人ニ交付シタル後チ其領收證書ヲ會計主務官ニ送付スルモノトス
前項ニ依リ金庫ヨリ領收證書ヲ會計主務官ニ送付シタルトキハ元ト切離
シタル領收證書ノ原符ニ照シ「何年月日仕拂濟」ノ印ヲ原符ニ捺シ金庫出
納事務規程第十六條第二項ノ領收證書ハ本訓令第二十四條第二十五條ニ
依リ之ヲ金庫ニ返付スヘシ
本條第一項ニ依リ集合仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルトキハ金庫ヨリ其領
收證書ヲ徴スヘシ此領收證書ハ會計検査院ニ向テ支出ノ證明ヲナストキ
正當受取人ノ領收證書ニ代ハリ證憑トナルモノトス但シ支出ノ證明ヲナス

トキハ別ニ集合仕拂命令ニ添附セル金額氏名表ノ謄本ヲ作り之ヲ添ユヘシ

第二十四條 金庫出納事務規程第七十二條第八十六條第九十七條ニ依リ金庫ヨリ歳出金月計對照表現金交付濟仕拂命令及同事務規程第十六條ノ受取人ノ領收證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ調査シ不都合ナキトキハ金庫出納事務規程第三十四號書式ニ示ス如ク月計對照表ニ記入捺印シ甲號表ハ之ヲ留置キ乙號表ハ仕拂濟ノ仕拂命令及受取人領收證書ト共ニ明治二十二年大藏省訓令第七十四號ニ依リ三日以内ニ之ヲ金庫ニ送付スヘシ

第二十五條 金庫出納事務規程第七十四條第八十八條第九十七條ニ依リ金庫ヨリ歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表現金交付濟仕拂命令及同事務規程第十六條ノ受取人ノ領收證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ調査シ不都合ナキトキハ金庫出納事務規程第三十六號書式ニ示ス如ク月計對照表

ニ記入捺印シ仕拂濟ノ仕拂命令及受取人領收證書ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫ニ送付スヘシ

第四章 支出報告

第二十六條 會計規則第四十九條ニ依リ會計主務官ノ調製スル毎月支出報告書ハ毎月末日支出簿ノ締高ニ依リ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第七號書式ニ從ヒ之ヲ調製シ本屬大臣ノ定メタル期限ニ左ノ參照書類ト共ニ之ヲ中央會計主務官ニ送付スヘシ

一 歳出金月計對照表 甲號表ノ分

二 前項ノ外大藏省主計局長及中央會計主務官ヨリ要求スル參照書類

第二十七條 會計規則第五十條ニ依リ中央會計主務官ノ調製スル毎月支出總報告書ハ中央會計主務官自身ニ作りタル毎月支出報告書及他ノ會計主

務官ヨリ送付ヲ受ケタル毎月支出報告書ノ金額ヲ集計シ集計ノタメ補助簿ヲ設クルヲ便トス明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第八號書式ニ從ヒ之ヲ調製シ會計規則第五十條ノ期限内ニ左ノ参照書類ト共ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

- 一 毎月支出報告書中央會計主務官ノ作リタル分及他會計主務官ヨリ送付ヲ受ケタル分トモ
- 二 歳出金月計對照表甲號表ノ分ニシテ中央會計主務官自身ノ分及ヒ他會計主務官ヨリ送付ヲ受ケタル分トモ
- 三 前二項ノ外大藏省主計局長ヨリ要求スル参照書類

第二十八條 會計主務官ハ毎月支出報告書及毎月支出總報告書ノ送付方定期ニ後レサル様嚴密ニ注意スヘシ万一其送付方定期ニ後ル、トキハ其事故ヲ取調會計主務官ヲ相當處分ニ及フコトアルヘシ

會計主務官ヨリ中央會計主務官ニ送付スル毎月支出報告書定期ニ後レタ

ルトキハ遲延ノ事由ヲ具シ中央會計主務官ヨリ之ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ
毎月支出報告書ノ送付定期ニ後レタルカ爲メ毎月支出總報告書ノ提出定期ニ後ル、ノ恐アルトキハ中央會計主務官ハ既著ノ毎月支出報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ作り其旨ヲ大藏大臣ニ報告シ延著ノ毎月支出報告書ハ之ヲ取纏メ毎月支出總報告書ノ式ニ準シ追加報告書ヲ作り大藏大臣ニ送付スヘシ

第五章 支出證明

第二十九條 會計規則第四十四條ノ期限經過スルトキハ會計主務官ハ直チニ支出簿ヲ締切リ會計規則第九十五條ノ計算書ノ調製ニ著手スヘシ
本條計算書ノ書式ハ明治二十二年十一月會計検査院ニ於テ定メタル支出證明規程第一條ニ依ル

本條計算書ハ毎年度經過後五箇月以内ニ之ヲ所屬大臣ノ指定シタル下検査官吏ニ送付スヘシ

本條計算書提出ノ期ニ際シ若シ概算渡ノ精算ニ至ラサルモノアルトキハ支出證明規程第二條ニ依ル

會計規則第九十五條ニ依リ本條ノ計算書ニ添付スヘキ證憑書類ハ支出證明規程第六條ニ依リ之ヲ下検査官吏ニ送付スヘシ但其證憑書類ハ支出證明規程第二章ノ各條第九條ヨリ第二十五條ニ至ルニ定ムル所ニ依ル

一仕拂豫算中數局課ヲ包含スルモノアルトキハ支出證明規程第五條ニ依リ俸給仕拂額ヲ各目ニ區分セル明細書ヲ本條ノ計算書ニ添付スヘシ
支出證明規程第八條ノ事項中會計主務官限リニテ取調ヲナシ得ヘカラサルモノハ仕拂命令官ヨリ通知ヲ受クヘシ

第三十條 中央會計主務官會計規則第四十四條ノ期限マテノ毎年度毎月支出報告書ヲ悉皆受領シ之ヲ歳出簿ニ登記シタルトキハ歳出簿ヲ締切リ支出證明規程第四條ノ計算表ヲ調製シ前條ノ計算書ニ添付スヘシ

第三十一條 會計主務官交替ヲ爲シタルトキハ其責任ニ屬スル證明未濟ノ會計事務計算書ヲ調製シ會計規則第九十九條ノ期限内ニ本訓令第二十九條ノ手續ヲナスヘシ

第三十二條 一會計年度中會計主務官ノ交替アリタルトキハ後任會計主務官ノ證明スヘキ本訓令第二十九條ノ計算書ニハ支出證明規程第三條ニ依リ前任會計主務官ノ支出調定額ヲ併算スヘシ

第三十三條 本訓令第二十九條ニ依リ會計主務官ノ提出シタル計算書ハ會計規則第一百一條ニ依リ修正變更ヲ許ルサス但シ會計検査院法第二十條ニ

依り會計検査院ヨリ正誤ヲ命シタル場合ハ此限リニアラス

〔ノ内及印章ハ孰モ朱

〔書式〕

〔備考〕

〔第一〕領收證書用紙ニハ領收スヘキ金額番號仕拂命令ノ番號金庫名及受取人ノ欄内ニ住所(金庫ノ調査上必要ナキ場合ニ於テハ住所ノ記入ヲ略スルモ妨ケナシ)氏名共會計主務官ニ於テ記入スルモノトス

〔第二〕受取人ニ於テ現金ヲ領收ノ際年月日ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ヘ交付スルモノトス

用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ一枚接續

<p>原符</p> <p>第 [何] 號</p> <p>某年度(集合)仕拂命令第[何]號(ノ内)</p> <p>一金[何]程</p> <p>明治何年[何]月[何]日</p> <p>會計主務官印</p>		<p>受取人</p> <p>[何府(縣)下何地]</p> <p>[何] 某</p>
--	--	---

<p>領收證書裏面</p> <p>此領收證書用紙ハ會計主務官ニ於テ調製シ受取人ヘ交付スヘシ</p> <p>受取人ニ於テ金庫ヨリ現金領收ノ際表面ヘ其年月日ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ヘ交付スヘシ</p>		<p>領收證書</p> <p>第 [何] 號</p> <p>某年度(集合)仕拂命令第[何]號(ノ内)</p> <p>一金[何]程</p> <p>右領收候也</p> <p>明治何年[何]月[何]日</p> <p>[何地]金庫宛</p> <p>受取人 [何] 某</p> <p>會計主務官印</p>
--	--	---

大藏省訓令第二十號

北海道廳

町村制ヲ施行セ各縣沖繩縣
サル島嶼アル

北海道及ヒ町村制ヲ施行セサル島嶼ノ國稅徵收ノ手續ハ左ノ各項ノ外明治二十三年大藏省令第三號國稅徵收法施行細則ニ準據取扱フヘシ

明治二十三年三月一日

大藏大臣 伯爵松方正義

- 一 收入官吏現金ヲ領收シ之ヲ金庫ニ拂込タルトキハ其別符付領收證ヲ島司又ハ郡區長ニ送付シ別符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ受クヘシ
- 一 島司又ハ郡區長ハ收入官吏ノ送付シタル金庫ノ領收證ヲ檢シ收入檢定簿ヲ備ヘテ之ニ記入シ領收證ニ檢印シ別符ヲ切離シ領收證ハ之ヲ返付スヘシ

シ

- 一 島司又ハ郡區長ニ於テ前項ノ領收證ヲ檢シタルトキハ毎月檢定報告書ヲ製シ翌月七日以内ニ之ヲ北海道廳長官府縣知事ニ送付スヘシ
- 一 北海道廳長官府縣知事ハ前項ノ報告書ヲ收纏メ其月十五日以内ニ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ
- 一 收入官吏ハ明治二十二年大藏省令第十一號書式第四號ニ依リ收入報告書ヲ調製シ收入金月計對照表ヲ添ヘ翌月七日マテニ島司郡區長ヲ經テ北海道廳長官府縣知事ニ送付スヘシ
- 一 收入官吏ハ明治二十三年大藏省令第三號書式第七號ニ據リ收入額收入未濟額及缺損額報告書ヲ調製シ各納期後五十日以内ニ島司又ハ郡區長ヲ經テ北海道廳長官府縣知事ニ送付スヘシ

大藏省訓令第二十五號

府 縣

明治二十三年度内國稅徵收費取扱順序左ノ通之ヲ定ム

明治二十三年三月五日

大藏大臣 伯爵松方正義

明治二十三年度内國稅徵收費取扱順序

第一條 内國稅徵收費ノ豫算配賦ヲ分テ左ノ二類トス

第一類費 第二類費ヲ除クノ外ノ諸費

第二類費

- 一 死亡賜金 死傷手當
- 二 滯納處分費 差押物件買上代

三 土地検査費 旅費人足賃

第二條 第一類費ハ每項目ノ豫算年額ヲ定メ之ヲ配賦シ第二類費ハ請求ニ依リ之ヲ配賦ス

第二類費中死亡賜金死傷手當土地検査費ハ支出ヲ要スル都度其他ハ一歳所要ノ金額見込明細書及金庫豫算月別仕譯書ヲ製シ之ヲ請求スヘシ

第三條 第一類費第二類費豫算ヲ配賦スルトキハ其都度該金額ニ對スル仕拂命令ヲ發スルコトヲ委任ス

第二類費中死亡賜金死傷手當ニ限リ支出至急ヲ要スルトキハ既ニ委任ヲ受ケタル同項仕拂豫算額内ニ於テ先ツ流用ノ上仕拂命令ヲ發シ其缺額ノ目ニ對シ増額ヲ請求スルコトヲ得

第四條 各府縣ニ於テ第一類費豫算ノ配賦ヲ受クルトキハ之ヲ本部出張

所、派出所ニ分配シタル計畫書ヲ調製シ、爾後異動ヲ生スルモノアルトキハ其時々之ヲ修正シ置クヘシ但出張所派出所ヲ一構内ニ設置スル府縣ニシテ彼此區分シ難キ費用俸給旅費其他單獨所要ノモノヲ除キアルトキハ出張所費ヘ合同計畫スルモ妨ケナシ

前項ノ計畫書ハ速ニ寫ヲ製シ主稅局ニ送付シ爾後修正シタルトキハ其旨主稅局ヘ通知スヘシ

第五條 豫算配賦額各項中目ノ金額彼此流用ヲ要スルトキハ其有餘不足ニ就キ各事由ヲ詳悉シタル調書ヲ製シ承認ヲ請フヘシ
前項ノ流用ヲ請フハ其年十二月十日迄トス但精算上又ハ著シキ事故アルトキハ此限ニアラス

第六條 左ノ各目ハ豫算配賦額ニ剩餘ヲ生スルモ他ノ目ニ流用ヲ請フコト

ヲ得ス

- 一 高等官俸給
 - 二 所得稅調查委員手當
 - 三 稅則違犯物件取扱費
 - 四 沖繩縣稅品取扱費
- 第七條 土地檢査費其他特ニ事業ヲ指定シテ配賦シタル費用ハ他ノ費用ニ轉用スルコトヲ得ス

前項ノ費用ハ其事業結了後日數十日以内仕拂金額明細書ヲ製シ之ヲ報告スヘシ

第八條 毎月所屬ノ費用ハ特別ノ事故アルノ外翌月十五日以内ニ精算結了スヘシ

大藏省訓令第二十八號

出納官吏

明治二十二年大藏省令第十一號書式中第十四號收入官吏收入簿第十六號會計主務官支出簿月計及追次締高記載方ハ左ノ様式ニ準スヘシ其第十七號中央會計主務官歲出簿中合計トアルハ最終ノ合計ニシテ毎月合計ヲ要セサル儀ト心得ヘシ

明治二十三年三月七日

大藏大臣 伯爵松方正義

大藏省訓令第二十九號

北海道廳 府縣 沖繩縣ヲ除ク

國稅賦課ノ成績ヲ詳明ナラシムル爲メ左ノ手續ニ依リ毎年度國稅賦課計算書ヲ調製シ明治二十二年度分ヨリ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ

但明治二十年訓令第五十號租稅計算整理順序同第五十二號地租延納年賦異動報告ハ廢止ス

明治二十三年三月八日

大藏大臣 伯爵松方正義

一國稅賦課計算書ハ地租ハ曆年其他ノ國稅ハ會計年度ノ區分ニ依リ其所屬年度間ニ賦課シタル物件ノ員數及ヒ租稅額ヲ掲載スヘシ

一國稅賦課計算書送付後所屬年度ノ出納完結ヲ過キ賦課額ノ異動ヲ發見シタルトキハ更ニ賦課追加計算書 表面ヘ元年ヲ記載ス ヲ調製シ相當年度ノ賦課計算

書ト共ニ之ヲ送付スヘシ

但其所屬年度ノ出納完結以前ニ係ルモノハ之ヲ訂正シテ曩キノ計算書ト引換ヲ請フヘシ

一國稅賦課計算書ハ第一號ヨリ第十五號マテノ様式ニ依リ調製シ地租ハ翌年三月以内其他ノ國稅ハ會計年度經過後二箇月以内ニ其廳ヲ差立ヘシ
但計算書様式ハ主稅局ヨリ送付スヘシ

大藏省訓令第三十號

金庫出納役

金庫出納事務規程第十五條金庫所在地外ノ債主ヨリ金庫ヘ差出セシ領收證書ハ一箇月分ヲ取纏メ 共月中ニ金庫ヘ落翌月五日迄ニ會計主務官ヘ送付シ

會計主務官ノ領收證書ヲ取置クヘシ

金庫出納事務規程第十六條ニヨリ集合仕拂命令ヲ受ケタルトキハ金庫ハ該仕拂命令ニ對シ領收證書(集合仕拂命令一枚ニ對シ領收證書一枚ヲ送付スルコト)ヲ會計主務官ヘ差出スヘシ

明治二十三年三月十一日

大藏大臣 伯爵松方正義

大藏省訓令第三十一號

府 縣

明治二十三年度以降大藏省所管内國稅徵收費ノ仕拂豫算ヲ達シタルトキハ左ノ各項ニヨリ仕拂豫算ノ整理ヲナスヘシ

明治二十三年三月十一日

大藏大臣 伯爵松方正義

- 一 仕拂命令官ハ左ノ第一號書式ノ毎月仕拂命令濟額報告書ヲ調製シ翌月七日以内ニ大藏省ヘ送付スヘシ
- 一 仕拂命令官ハ左ノ第二號書式ノ概算支出金整理簿ヲ備エ概算渡ニ係ル仕拂命令額、精算額、返納額ヲ登記スヘシ
- 一 仕拂命令官ハ 收稅本部、收稅部出張所、租稅檢査員派出所所要費額ノ區分及其詳細ヲ明ラカニスル爲メ適宜帳簿ヲ備エ各其費途ヲ詳記スヘシ
- 一 仕拂命令官ハ別紙第三號書式ニヨリ年度經過後五箇月以内ニ每會計年度ニ屬スル仕拂豫算額、仕拂命令濟額、殘額、及ヒ本部、出張所、派出所所要ノ費額ヲ詳記シタル報告書ヲ調製シ大藏省ヘ送付スヘシ
- 一 臨時歲出ニ係ル仕拂豫算ヲ達シタルトキハ前各項ニ準據シ款別ニ整理スヘシ
- 一 第三號書式ハ主稅局ヨリ之ヲ送付ス

明治何年度經常歲出
 内國稅徵收費
 概算支出金整理簿

何 廳

(第二號書式)

(臨時歳出アルトキハ之レニ準シ各款別ニ調製スヘシ)

第何號 何 廳 (又ハ何廳何島總) (第一號書式)
 明治何年度經常歳出
 何年何月分 (臨時歳出アルトキハ之レニ)
 内國稅徵收費 (準シ各款別ニ調製スヘシ)
 仕拂命令濟額報告書

科 目	仕拂命令濟額			定額戻入額		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘
何 (項)						
何 (目)						
何						
何						
何 (項)						
何 (目)						
何						
何						
何 (項)						
何 (目)						
何						
何						
合 計						
	明治何年何	月何日				
	仕拂命令官	官 氏名				

(料紙美濃紙製砂引)

(旅 費) 内 國 旅 費

年月日	摘 要	備 考	概算渡			精算高			返納高			發	
			額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	
何何	何ノ其何地出張ニ 付命令何號		50000			45000					50000		
何何	同上精算濟										5000		
何何	同上ニ付過剩ノ分 告知書何號	何月何日改收給印渡 何月何日定額戻入給印渡						5000			0		
何何	何某何地出張ニ付 命令何號		80000			78000					80000		
何何	同上精算濟										2000		
何何	同上ニ付過剩ノ分 告知書何號	何月初日改收給印渡						2000			0		
何何	何某何地出張ニ付 命令何號		60000			65000					60000		
何何	同上精算濟										5000		
何何	同上追給ノ分 命令何號		5000								0		

〔備考〕
 (一) 概算渡ニ係ル仕拂命令額ハ仕
 拂簿整理簿ニ記入セシト雖
 トモ尚本簿ニ左ノ事項ヲ登記
 シ概算支出ノ整理ヲナスモノ
 トス
 (二) 概算渡額ハ仕拂命令額ヲ登記
 ス
 (三) 精算高ハ其精算額ヲ登記ス
 (四) 返納告知書ヲ發シタルトキ其
 過剩額ヲ登記ス
 (五) 精算上不足アルトキハ概算内
 ニ未書ヲ以テ其不足額ヲ登記
 ス
 (六) 返納金ニ對スル金庫ノ領收證
 ニ檢印シタルトキハ備考欄ニ
 何年何月何日領收證へ檢印濟
 ト記入ス
 (七) 定額戻入要求書ニ大藏大臣ノ
 檢印ヲ受ケタルトキハ備考欄
 ニ何年何月何日定額戻入檢視
 精算上不足額ノ追給ヲナシタ
 ルトキハ概算渡額ニ其仕拂命
 令額ヲ登記ス

大藏省訓令第三十四號

府 縣 沖 繩 縣
ヲ 除 ヲ

備荒儲蓄金取扱順序明治二十三年度以降左ノ通心得ヘシ

但收支科目及報告書式ハ別ニ頒ツ

明治二十三年三月十四日

内務大臣 伯爵山縣有朋
大藏大臣 伯爵松方正義

備荒儲蓄金取扱順序

第一條 備荒儲蓄法第四條ニ因リ府縣儲蓄金ノ管守支給及利殖ノ方法ヲ定
 メ許可ヲ得タルトキハ府縣知事ハ該年度ノ收支概計書別紙第一號ノヲ製
 シ大藏大臣ヘ差出スヘシ

第二條 府縣儲蓄金ノ内現金ヲ銀行等ヘ預ケ入ヲナストキハ其金額ニ對ス

備荒儲蓄金取扱順序

ル抵當ヲ要スヘキハ勿論其抵當ハ公債證書ヲ取置クヘシ

第三條 地租ノ貸與金ヲ受タルモノ不慮ノ災害ニ遭遇シ返納シ能ハサルトキハ之ヲ猶豫シ又ハ免除スルノ方法ヲ設ケントスルトキハ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ

第四條 地租ノ貸與金ヲ受タルモノ其返納年限内ニ於テ利引ヲ以テ一時上納ナサシムル爲メ該府縣儲蓄金利子平均ノ分合ニ準シ利引ノ方法ヲ設ケントスルトキハ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ

第五條 米穀ヲ貯積スル爲メ倉廩ヲ建築シ及借庫料番人給料等ニ係ル諸費用郡市町村吏旅費ノ如キハ此限ニアラス 竝米穀公債證書ノ賣買等ニ關スル諸雜費及損失ヲ府縣儲蓄金ノ内ヨリ支辨スルノ方法ヲ設ケントスルトキハ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ

第六條 備荒儲蓄法第七條ニ因リ府縣儲蓄金ノ百分ノ五前年度ヨリ越高貸付金ハ其年返納スヘキ額ヲ除算ス及其年收入スヘキ金額ヲ合セタル總額ニ對シ計算スヘシ以上ヲ供用支出セントスルトキハ豫メ災害ノ景況及救助額ノ概算ヲ内務大臣ニ具狀シ中央儲蓄金ノ補助ヲ請求スヘシ此場合ニ於テハ時トシテ内務大臣兩省ノ官吏ヲ派遣シ實際ヲ査閱スルコトアルヘシ

第七條 中央儲蓄金ヨリ補助ヲ要シタルトキ府縣知事ハ其願末ヲ管下ヘ告示スヘシ

第八條 凡府縣儲蓄金ノ出納ハ每半期報告書別紙第二號ノ式ニ因ルベシヲ製シ上半期ハ十月中下半年ハ翌年四月中其地ヲ發シ大藏大臣ヘ差出スヘシ

第九條 府縣儲蓄金ノ出納ハ便宜ニ從ヒ出納簿現金米穀公債證書等ノ受及拂ヲ總括スルモノヲ云フ内譯簿現金米穀公債證書ノ所在ヲ分チ或ハ收支ノ科ヲ製シ置キ常ニ其會目ニ因リ出納ノ内譯ヲ明カニスル帳簿ヲ云フ